

〈子育てと仕事に関するアンケート調査について〉

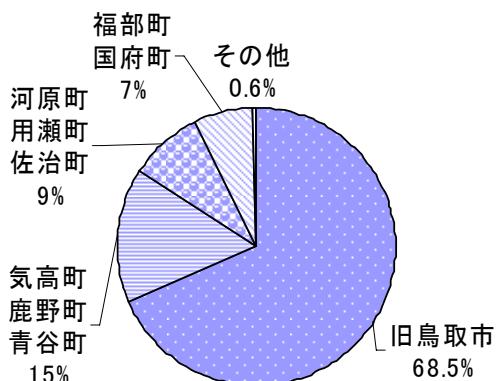
【調査の概要】

- 目的：「子育て」と「仕事」の関係について把握し、地域におけるよりよい子育て環境、支援のあり方について考えること
- 対象：鳥取市内小学生1～3年生の普段の世話を最もよくしている方
※対象小学校は、鳥取市教育委員会の協力を得て抽出した
- 調査方法：質問票による調査
配布：対象小学校に依頼 回収：郵送又はweb回答
- 回収率：37.5%
※本調査では1つの世帯に複数の調査票が配布された場合は1部のみ回答とした。また、子どもが複数人いる回答者の割合が82.0%であったことから、調査票は実際の配布数よりも少なく回収率は37.5%よりも高いものと思われる。
- 実施時期：平成18年7月

【調査結果】

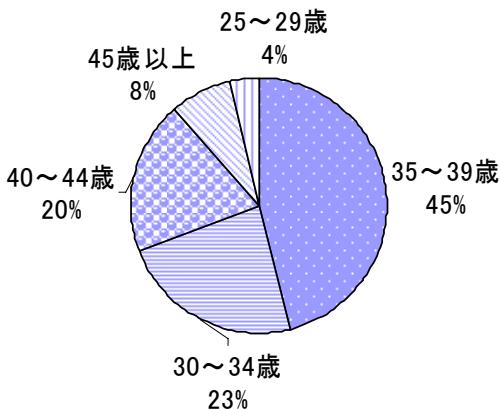
問1 あなたがお住まいの地域について、該当する番号1つに○をつけてください。

① 地域 n=346 (SA)



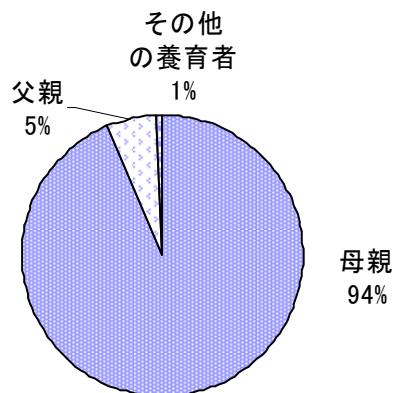
問2 あなたの年齢について、該当する番号1つに○をつけてください。

② 年齢 n=349 (SA)

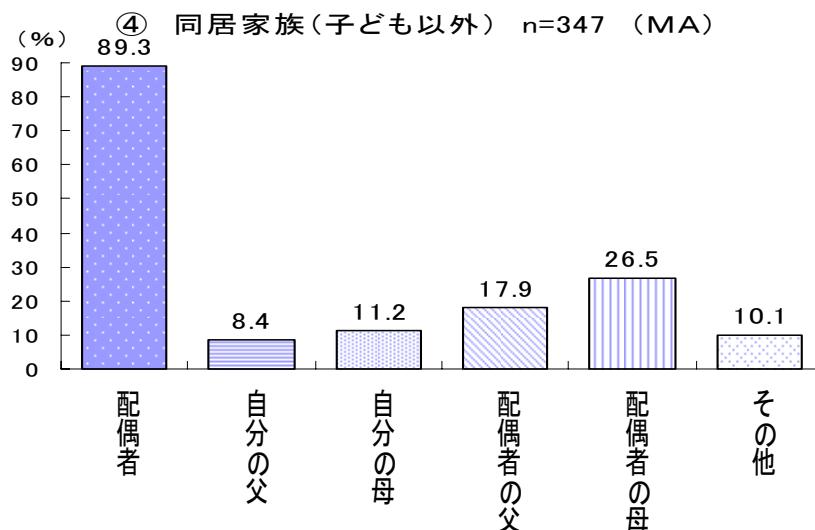


問3 お子さんからみたあなたの続柄について、該当する番号1つに○をつけてください。

③ 続柄 n=349 (SA)

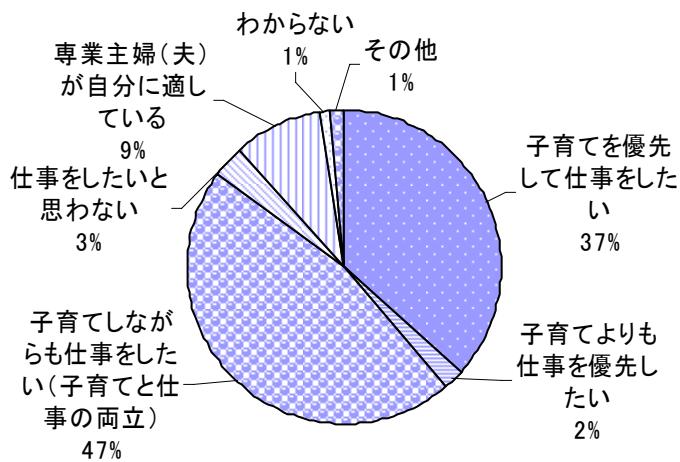


問4 あなたが同居している家族について、該当する番号すべてに○をつけてください。

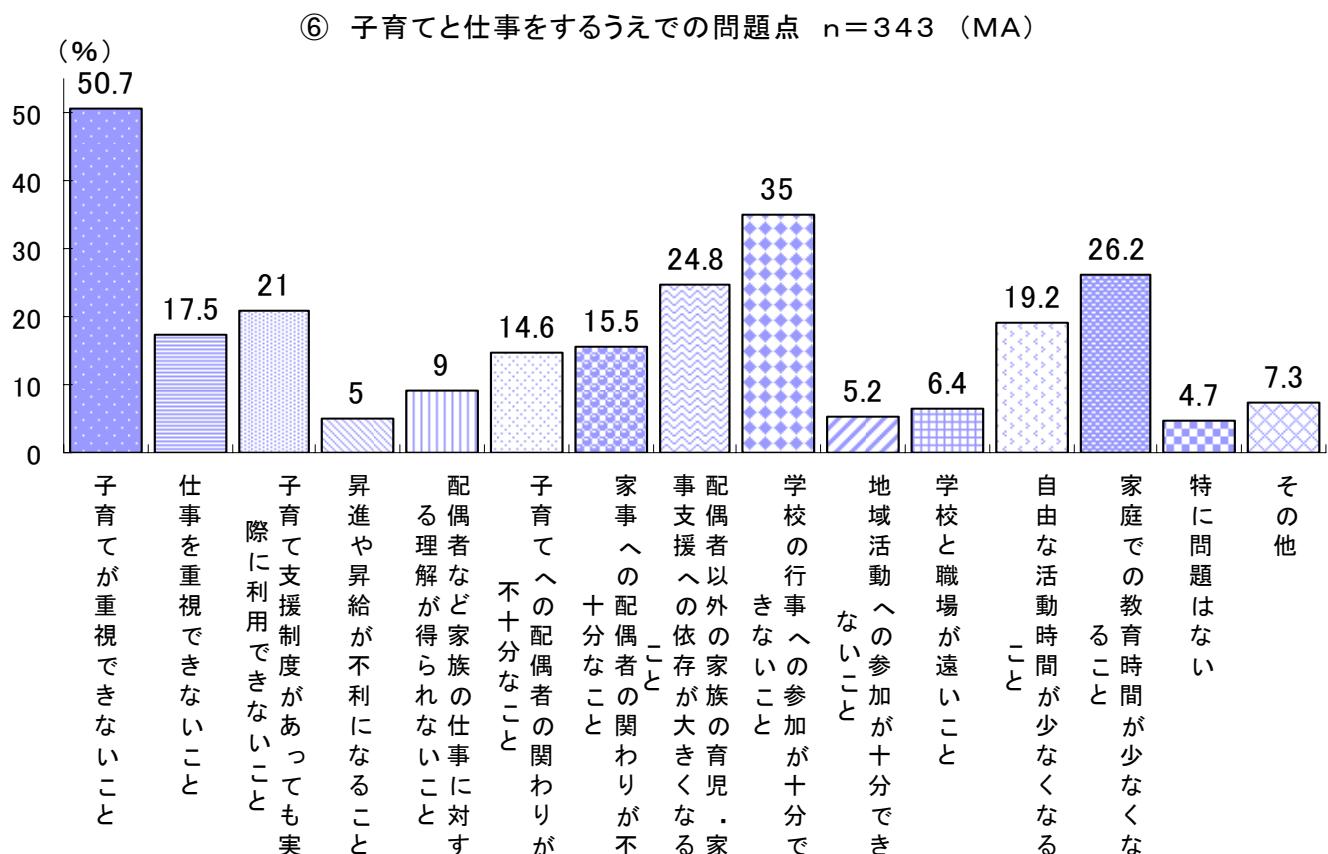


問5 あなたは子育てと仕事についてどのようにお考えですか。該当する番号1つに○をしてください。

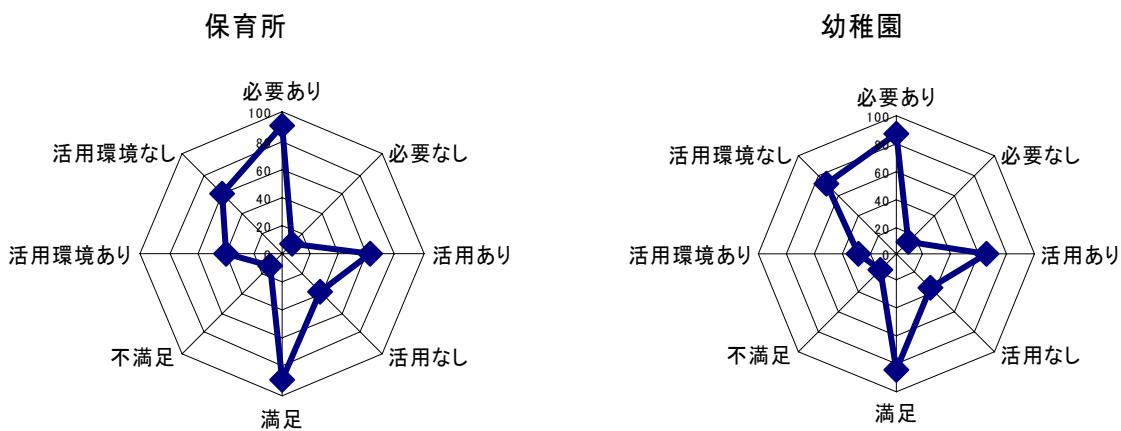
⑤ 子育てと仕事の関係 n=346 (SA)



問6 「子育てをしながら仕事をすること」についてどのような問題があるとお考えですか。該当する番号に3つまで○をつけてください。

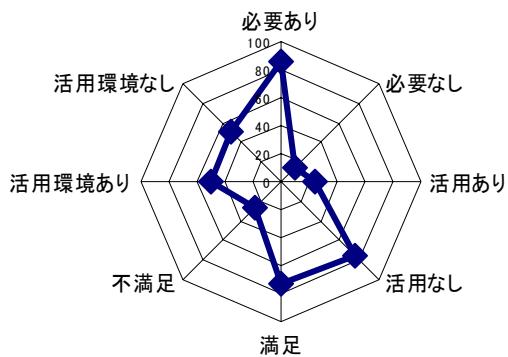


問7 子育てにあたり、次の項目について子育てをするうえで「必要かどうか」、「実際に利用（活用）したかどうか」、利用（活用）した場合は「その満足度」、利用（活用）しなかった場合は「利用（活用）できる環境であったかどうか」について、該当する番号に○をつけてください。

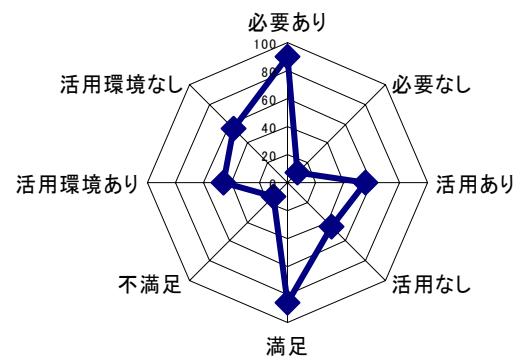


問7 子育てにあたり、次の項目について子育てをするうえで「必要かどうか」、「実際に利用（活用）したかどうか」、利用（活用）した場合は「その満足度」、利用（活用）しなかった場合は「利用（活用）できる環境であったかどうか」について、該当する番号に○をつけてください。

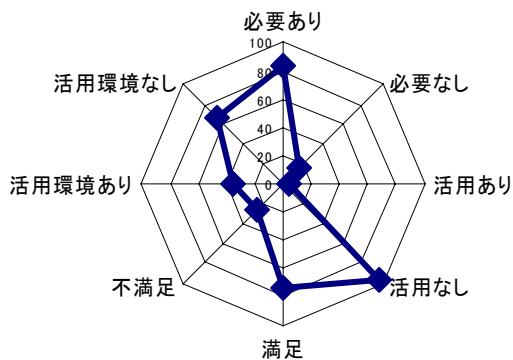
一時保育



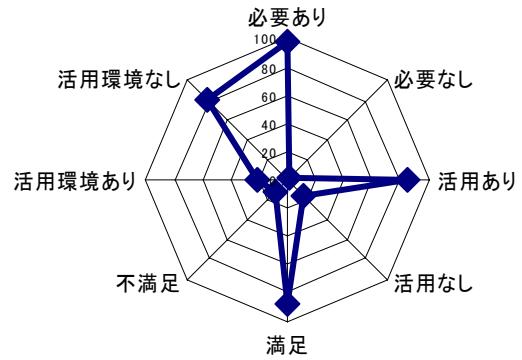
延長保育



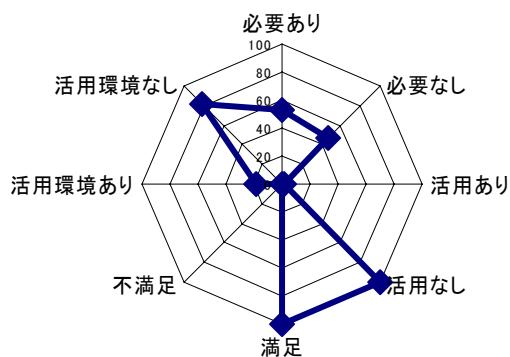
病後時保育



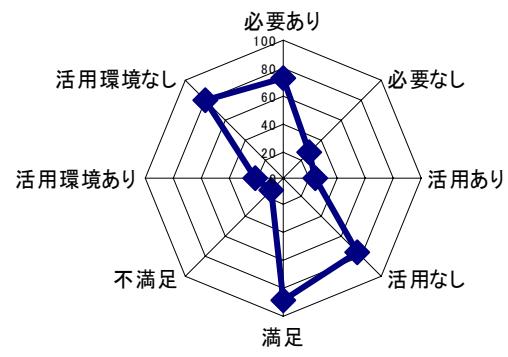
親



シッター

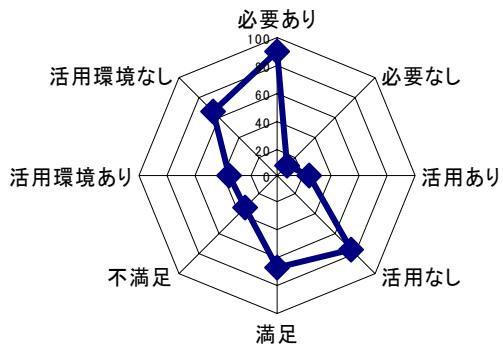


近隣住民

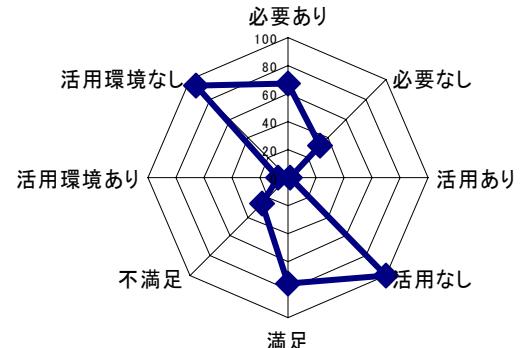


問7 子育てにあたり、次の項目について子育てをするうえで「必要かどうか」、「実際に利用（活用）したかどうか」、利用（活用）した場合は「その満足度」、利用（活用）しなかった場合は「利用（活用）できる環境であったかどうか」について、該当する番号に○をつけてください。

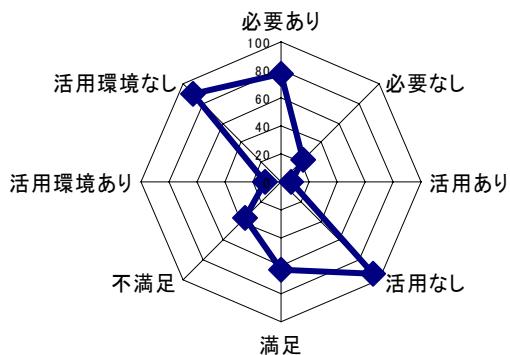
放課後児童教育



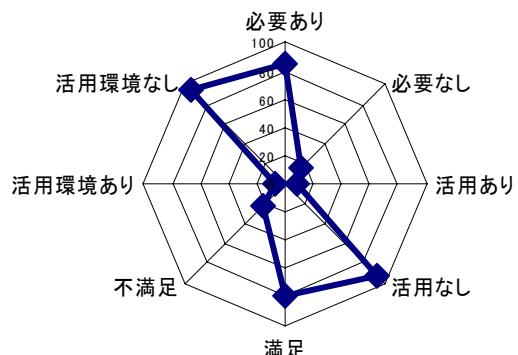
職場内保育所



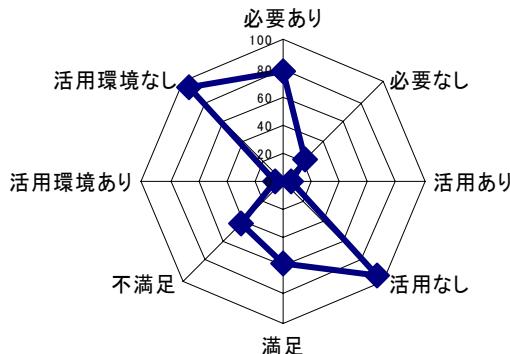
短時間労働



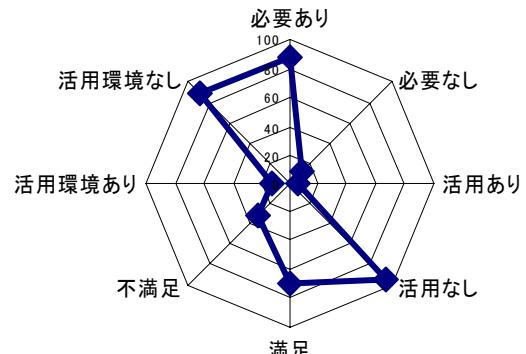
フレックス



在宅勤務

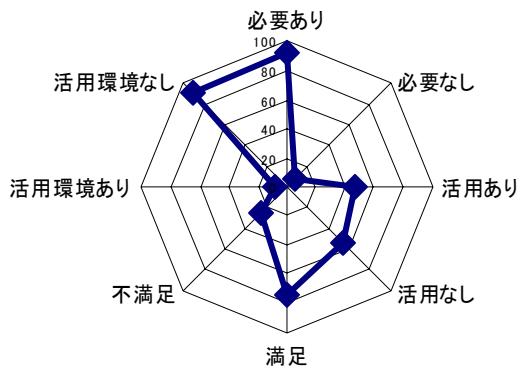


急な病気への支援

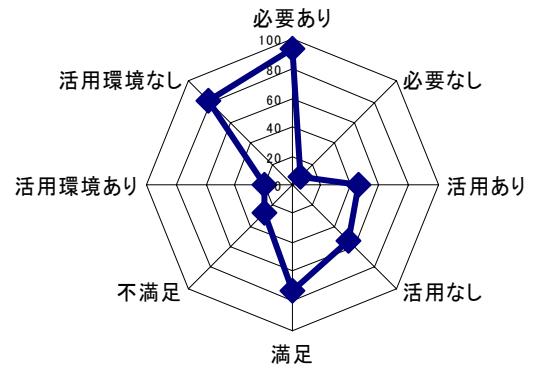


問7 子育てにあたり、次の項目について子育てをするうえで「必要かどうか」、「実際に利用（活用）したかどうか」、利用（活用）した場合は「その満足度」、利用（活用）しなかった場合は「利用（活用）できる環境であったかどうか」について、該当する番号に○をつけてください。

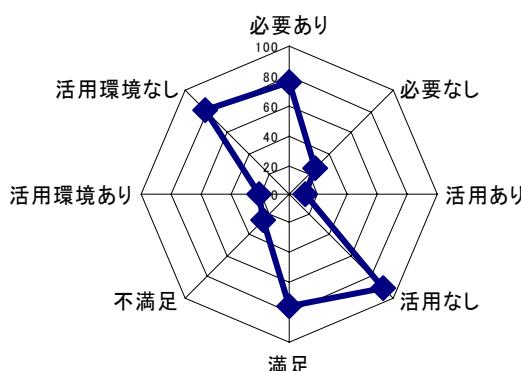
学校行事参加休暇



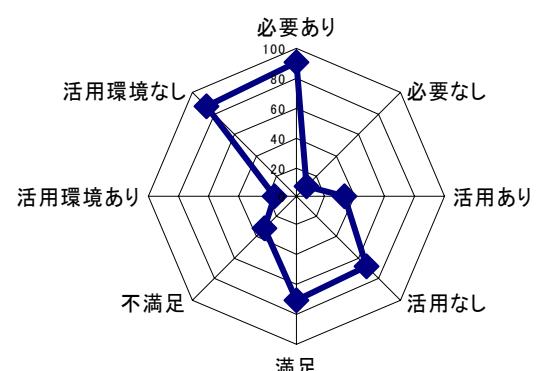
出産休暇



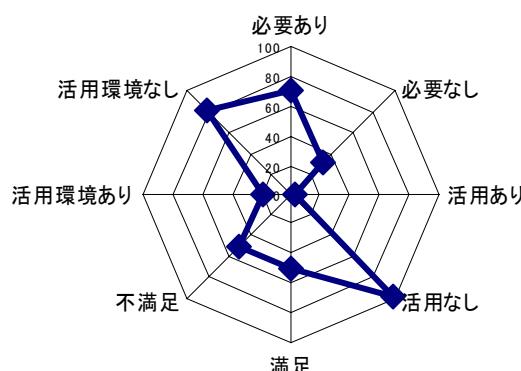
配偶者出産休暇



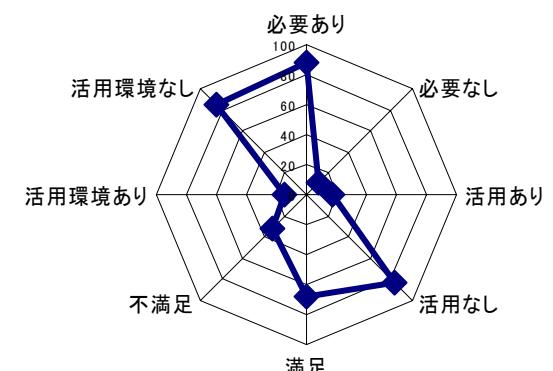
育児出産休暇



配偶者育児出産休暇

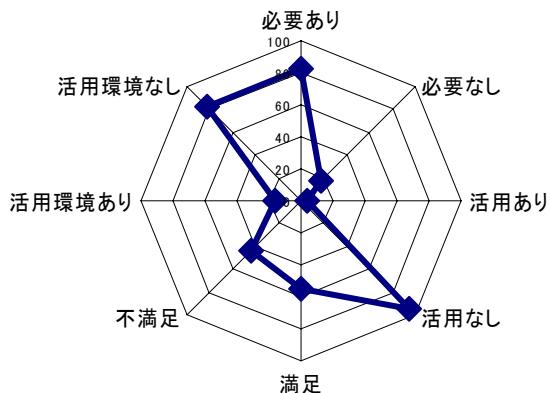


看護休暇

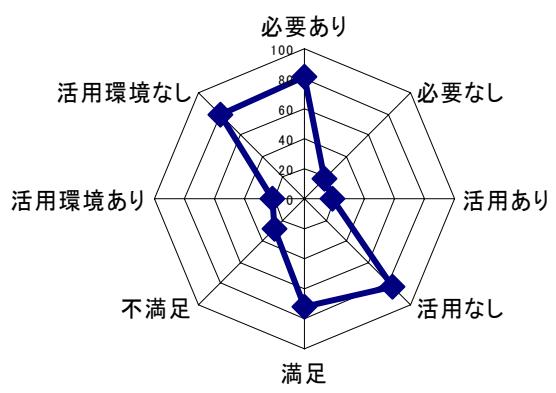


問7 子育てにあたり、次の項目について子育てをするうえで「必要かどうか」、「実際に利用（活用）したかどうか」、利用（活用）した場合は「その満足度」、利用（活用）しなかった場合は「利用（活用）できる環境であったかどうか」について、該当する番号に○をつけてください。

配偶者看護休暇



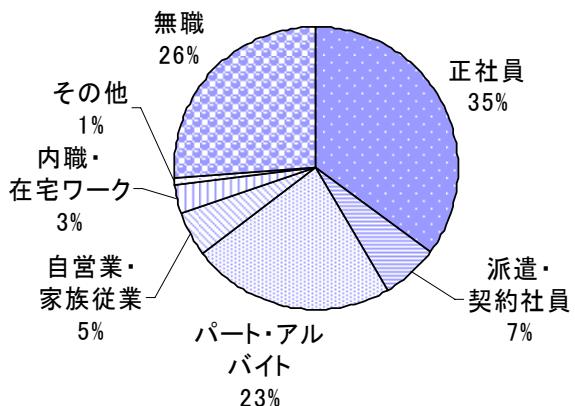
自己能力向上機会



問8 現在のあなたの仕事の状況についておうかがいします。

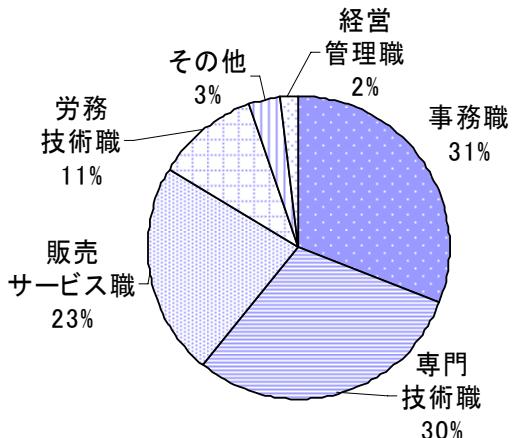
① あなたの就業形態について、該当する番号1つに○をつけてください。

(8) 就業形態 n=345 (SA)

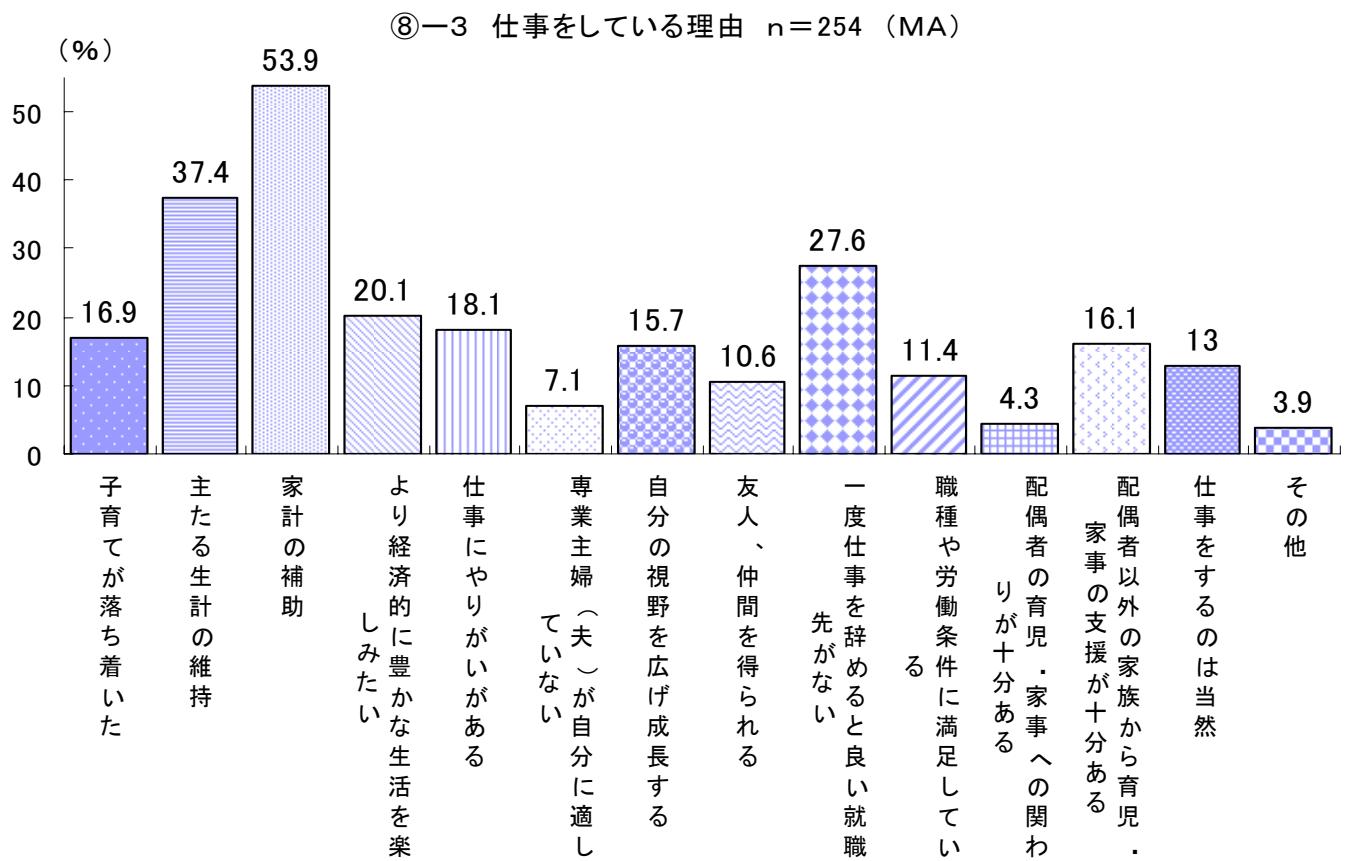


② あなたの職種について、該当する番号1つに○をつけてください。

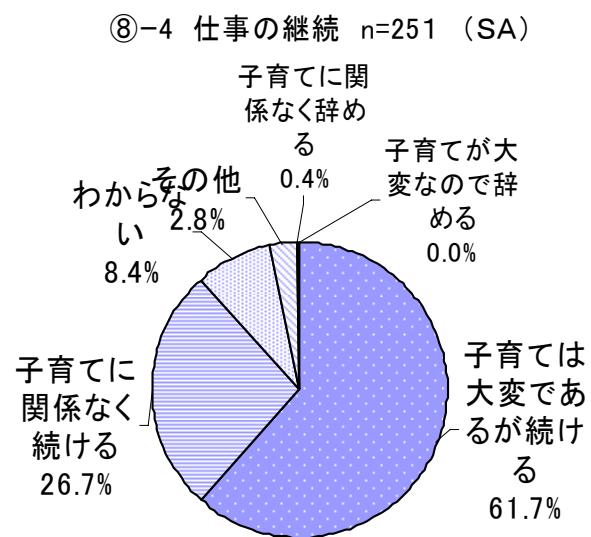
(8)-2 職種 n=250 (SA)



③ あなたが仕事をしている理由について、最も該当する番号に3つまで○をつけてください。

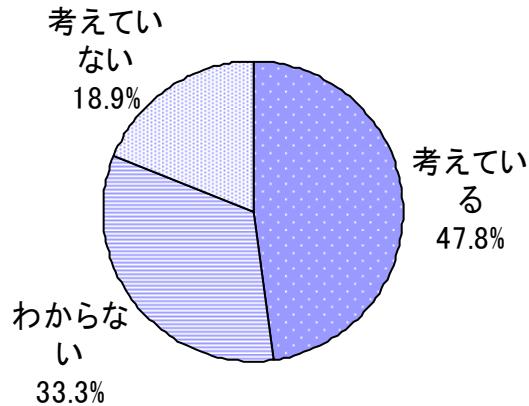


④ あなたは今後も仕事を続けようと考えですか。該当する番号1つに○をつけてください。



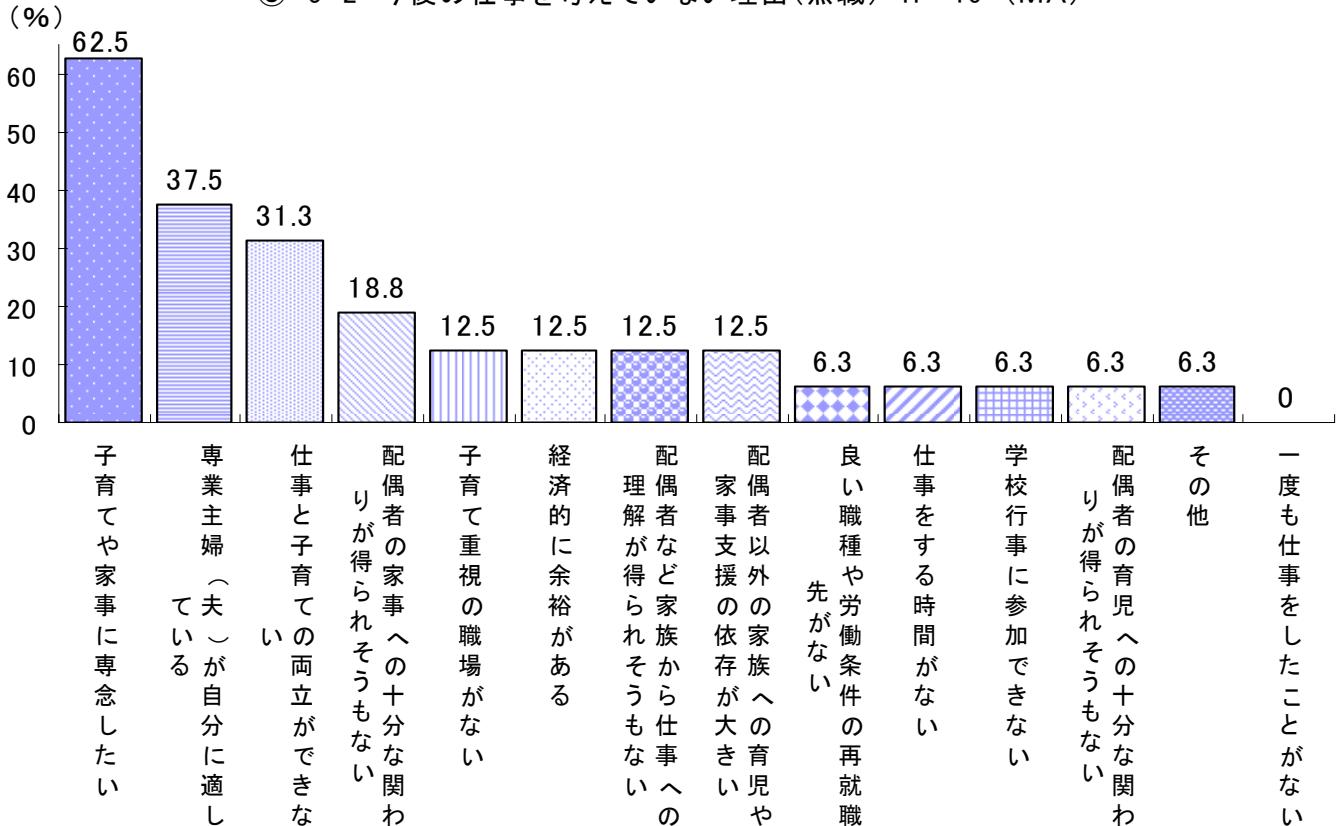
⑤ 問8①で「7. 無職」に○をつけた方にうかがいます。今後仕事をしようとお考えですか。該当する番号1つに○をつけてください。

⑧-5 今後の仕事(無職) n=90 (SA)

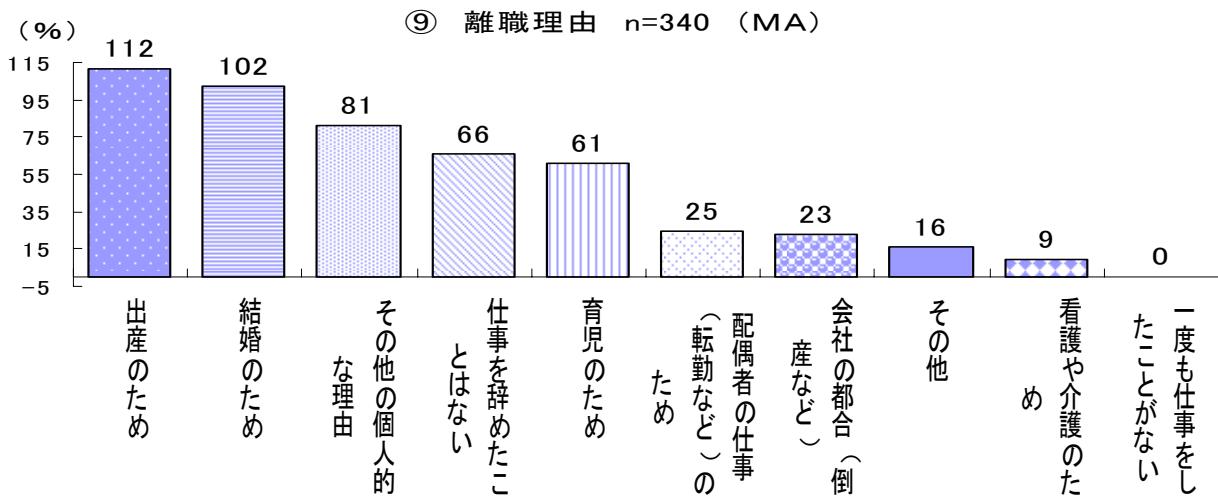


⑤-1 前問⑤で「2. 考えていない」に○をつけた方にうかがいます。その理由はどのようなことですか。該当する番号に3つまで○をつけてください。

⑧-5-2 今後の仕事を考えていない理由(無職) n=16 (MA)

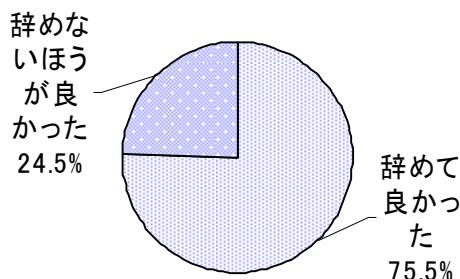


問9 あなたはこれまでに仕事を辞めたことがありますか。該当する番号にすべてに○をつけてください。

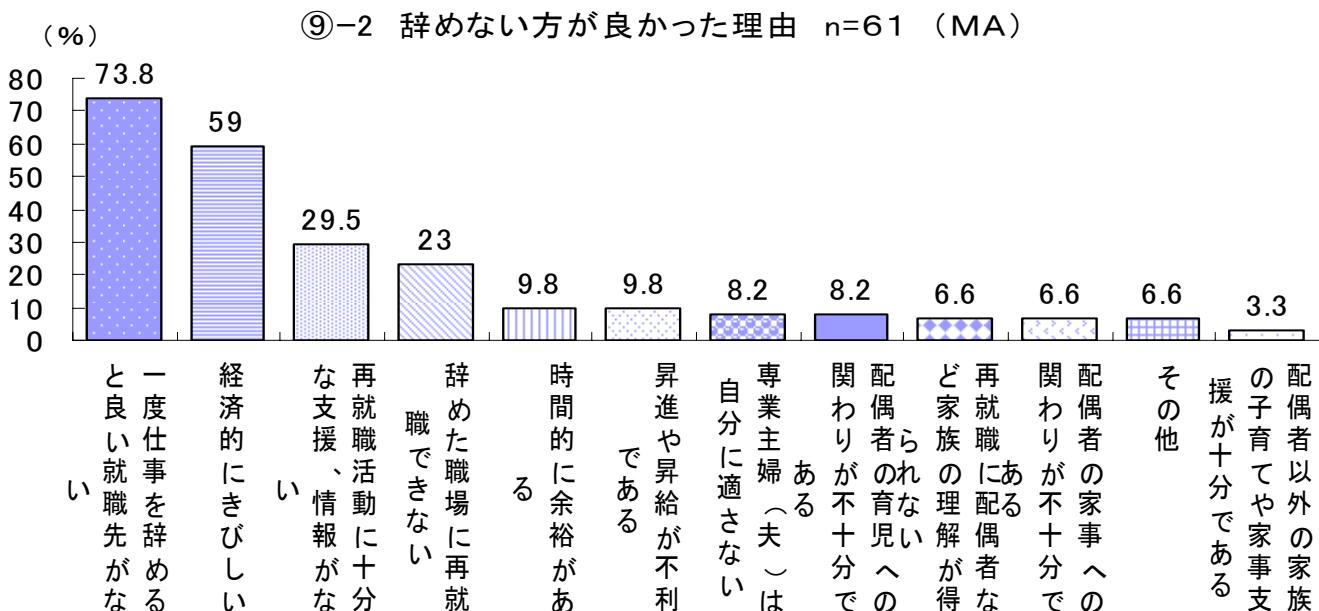


問9-1 前問9で1~8に「○」をついた方にうかがいます。仕事を辞めたことをどのようにお考えですか。該当する番号1つに○をつけてください。

⑨-1 異職をどう思うか n=249

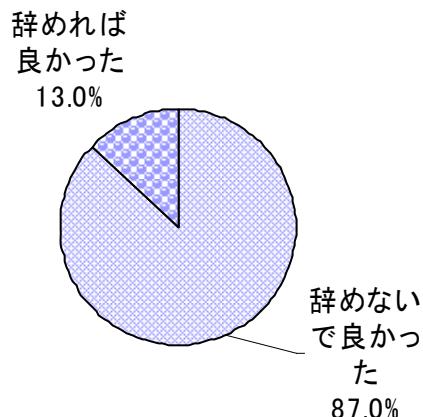


問9-2 前問9-1で「1. 辞めないほうが良かった」とお答えになった方にうかがいます。その理由はどのようなことですか。該当する番号に3つまで○をつけてください。



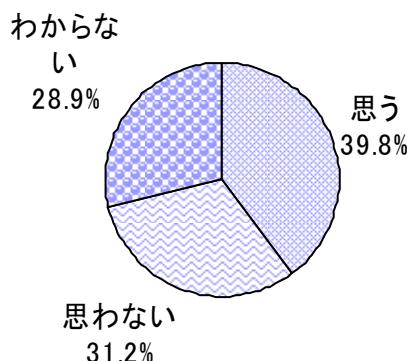
問9－3 問9で「9. 仕事を辞めたことはない」に「○」をつけた方にうかがいます。子育てしながら仕事を続いていることをどのようにお考えですか。該当する番号1つに○をつけてください。

⑨-3 仕事継続について n=54 (SA)



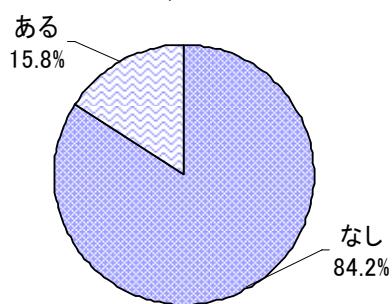
問10 あなたがお住まいの地域は、子どもを産み育てやすい環境であると思われますか。該当する番号1つに○をつけてください。

⑩ 子育てしやすい地域か n=349 (SA)

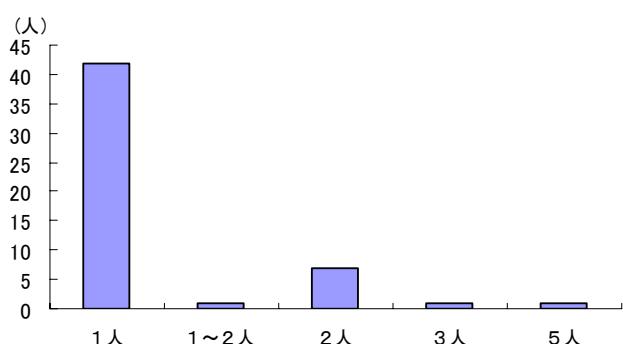


問11 今後、さらに「子どもをもうけたい」という希望はありますか。該当する番号1つに○をつけてください。「2. ある」の場合は、希望人数をご記入ください。

⑪ 今後子どもを持つことの希望 n=335 (S A)



⑪-1 今後希望する子ど�数 n=52



「子育て」と「仕事」についてなど、子育てに関してご意見等がありましたらご自由に記載してください。

・子どもとの関わりを大切にしながら仕事を持つ事ができたら良いが、実際、自分たち夫婦と子どもだけの生活で仕事を持とうと考えると、とても難しい。子どもの急な病気、学校や幼稚園の行事、教育。配偶者が家事や子育てに協力的であれば多少無理をしてでも仕事を続けられるかもしれないが、男性が自分の仕事に支障をきたしても家の事に協力する事が不可欠だと思います。私が仕事を辞めたのは、主人の転勤がきっかけですが、共働きの間、とても苦しかったので再就職をあきらめました。女性側に負担が大きいという事を分かってもらいたいです。

・現在、義務教育を受けている子どもが2人おりますが（中学生と小学生です）経済的に苦しく、就学援助を受けております。しかし、主婦がパート等で得る賃金が100万円を越えると所得税がかかり、家族手当もなくなるので180万以上給料を得なければならない状況なのですが、家庭と仕事を両立させると、とてもフルタイムで働けず、かといって、年収100万までしか働けない仕事などもなく、主人一人に負担がかかっております。主婦の仕事に税金をかけるなどは言いませんが、低所得の家庭からこれ以上むしり取らないでほしいです。贅沢はしていません！子どもに食べさせるにも苦労しております！義務教育に教材費とか学級費とか不必要だと思います。学費を安くしてほしいと誰に言えばいいのでしょうか？手取り18万で貧しいと言ってはいけませんか？

・どちらかに偏るべきものではなく、両方がうまく立つような社会づくり、制度、またそれをつくれる人材が必要である。

・今の子育てはいろいろと政策が練られ、ずいぶんと恵まれた環境になりつつあるように思いますが、それに伴い子育てる者の価値観等ずいぶん変化し、よりよい子育てができるいないようにも思います。周りから与えられるばかりでなく、もっと自分（父親・母親）が自覚をもちポリシーをもって子育てにあたるべきだと自分も含め反省する時代です。

・今まで仕事をする上で困ったことが、子どもが病気をした時、手軽に安価で子供の面倒を見てくれる施設があればいいなと思った。

・2人の子どもがいる。もう一人ほしいと思うが、子育てに困っている父や母がいつまでも元気でいてくれるかどうかわからず、仕事をしながら子育てる自信がない。父母がいないと特に子どもが急な病気のときや夜の会合がある時、子どもを見てくれる人がいないことが年に十数度はある。仕事も子育ても両立して大切にしたいと思うため、それができないと思うと、もう一人生み育てようと一步踏み出せないでいる。

・上の子が小学校に上がるまで17年間いた会社を辞めました。小学校には学童もなく販売業だった為、仕事が終わるのが19時すぎたため悩んだあげく仕事を辞めとりあえず上の子が3年にあがるまでは家にいることを選びました。保育園のように延長保育みたいなものがあれば共働きの私達には仕事と子育てが両立出来たのではないかと思います。

・子どもはたくさんもうけて、仕事もバリバリして収入も入ればいいのですが、両立となるとどっちかがおろそかになり、子どもを育てる意欲が同時に進行していかなくなり、鳥取での生活状況では自立支援だけで両方行動できないのは分かっています。今回の調査結果だけではなく、実際に地方の生活向上につながる格差社会の環境改善に取り組んでいただきたいのです。

・経済的に子育てはきびしいです。医療費も小学生までは、かからないようにしてほしい。もっと1人より2人、2人より3人と子供にお金をだしてほしいです。

・転勤者は病気をした時に預かってくれる所がない。そのため、仕事を始めるのに考えてしまう。

・鳥取は共働きが多く、働く女性が多いと思うが、子育ては母親という根強い固定観念が残っている。父親も子育てに参加する必要があるし母親のみが一人仕事と子育てを背負っている友達がとても多い。そして子どもを育てることを楽しみというより負担に感じてしまう。子どもは1人で充分という女性も多いし結婚後のライフスタイルへの魅力の低下は感じざるを得ない。せめて、仕事場を子どもが病気になったとき休めるような環境作り、サポート体制の強化をしてほしい。

・今の職についたのが下の子どもが保育所の頃だったので、仕事をしている間、預かってもらえてとても良かったです。幼稚園の時も預かり保育、夏休みとかも預かりでみてもらい、とてもたすかりました。現在兄妹は小学生ですが、子育てもだいぶ手がはなれましたが、病期の時に仕事がなかなか休みにくく、高齢の86才のおばあちゃんにみてもらっています。

・鳥取県は、1人あたりの給与所得が少なく、共働きも多いのが現状ですが、子どもが小さい時など親が近くにいないと働きにくいです。下の子が産まれる時、上の子を保育園に一時預けたいと申し出た時、鳥取市の担当の方からは「出来ません」の一言でした。鳥取では地方公務員でないと産休も取りづらいです。こんな田舎の鳥取だからこそほかの県よりも子育てに関しては先進県であってほしいです。このままでは自分の子どもが大きくなても「県外に出るな」とは言いにくいです。

・子育てを最優先にして、空いた時間に家で仕事をしています。このリズムを当分は続けるつもりです。仕事はそれ程多くないので、ほとんど専業主婦ですが子どもの登下校の安全に神経をすり減らし、夜には部活動や稽古事の送迎をし、昼に見るニュースで子どもたちに関する悲惨な事件を見て、つかれはてている気がします。仕事をしながら子育てをする制度より子育て中は仕事をしなくともいい制度の充実を希望します。

・児童手当の金額が少ない。もう少し他の国のように一人当たり18000円程度はあっていいと思う。日本はその割には、子どもを育てる上でお金がかかりすぎる。共働きにしたとしても帰り道などの子どもの安全性を考えると（心配で）安心して仕事に打ち込めない方も多くあるのではないだろうか？学童保育も5時ぐらいまでしか見てもらえないで、残業をしたくても出来る環境にない方もあるようで、とても子育てがしやすいとは言いにくい。

・今の時代、夫婦共働きでないととても暮らしていくないです。仕事をするのは好きなので苦ではないですが、その為に保育園の行事や小学校の行事、参観日などが平日にある場合、休みをもらう事ができず、いつも子どもに謝っています。おまけに子どもの小学校には学童保育がなく、鍵っ子になってしまいます。また長い夏休みがやってくるのでどうやりすごそうかと悩んでいます。『子供を守るパトロール』『変質者問題』などあるこの時代に、子どもたちだけで留守番をさせるのはとても気がかりです。なんとかどの小学校でもしっかり子どもを放課後預けられるよう、市町村単位などでサポートできないでしょうか？少子化時代といわれていますが、こんな状態では子どもを増やす気にもなれませんね。むしろ一人っ子で充分だったかもと少し考えますね（経済的な面や将来を考えると）。

・子育て、仕事ともに人それぞれだと思います。今の社会は税金も法律も柔軟性がなく、結局子どもを持つと母親がいろんな意味で不自由になり弱者になると実感します。何がいいか悪いではなく、男も女も関係なく未来の大人になる子どもたちを育てる今の大人が仕事に子育てに役立つ選択肢や保障が充実することを願います。

・仕事をしていると会社の有給があっても休みにくい。子供子どものために、もっと行事等出てやることができたらいいと思う。土曜日、自分が週休二日ではないので子どもにとって、一緒にいて遊んでやる時間が少ない。

・仕事の時間にきちんと子どもを預かってくれる制度を作ってほしい。

・配偶者の仕事への理解、育児への参加が全く望めないのが不安。威圧的なのが今後の悩みです。

・今仕事をしていて、責任ある仕事を任せられることが多いのですが、その仕事をこなそうと思うと、子育てと両立することがすごく難しいと感じることが多い。女性も当然、管理職につくことはありうると思うけれど、時間的にも学習するにも子育てに労力がかかり仕事がこなせない。夫は夫で仕事が忙しいし、家事の分担はするけれども、男性の場合、料理、掃除など慣れておらず、子どもにちゃんとしたものをたべさせてやりたいと思うと、結局慣れている女性の方に家事がまわってきてしまう。子育てをベビーシッターなどに頼めば・・・とも思われるが、お金もそんなにないし、子育てを他人にゆだねてしまつていいものかとも思え、結局どうしようもなくなる。仕事も子育ても両方追求しようとすると、どちらも中途半端になる感じ。そうであるなら、やはり人間を育てるということに重点をおいた方がいいし、そうする為には、子育て中は、仕事を一定軽減する方がいいのではないかと思う。それは、男性も同じだと思う。もっと家庭を大切にする社会風潮であつてほしいし、それができる働き方であつてほしいと思う。子育ては、労力もかかり、お金もかかる。そんなきれいなものではないと思う。手間ひまかかるって当然。だって人間を育てていくのですから。今、この社会を担っていく子どもを育てるという大事業が親に重くのしかかっている。昔は、母親がやっていたものだと言われる人もあるが、昔と今とでは全然環境が違っている。母親も仕事をもち、外で働くようになり、しかも母親も父親も長時間労働。昔以上に子育てにお金がかかるようになっている。祖父母との同居は少なくなり、地域のつながりもうすれている。こういった社会環境の変化に対応した子育て支援でなければ、せっかく支援しても生きてこない。そして、もっと子育てにふさわしい社会環境へと変えていくことも大切と思う。長時間労働をなくすこと、子育てや教育にかかる自己負担を減らすこと、など。「未来を担う人間を育てることは社会にとっても大事な仕事」という位置づけにふさわしい環境を、親の努力だけにたよるのではなく、行政や地域社会全体で力を合わせてつくっていくことが大切だと思う。

・仕事をきちんと続けたいけど子供どもの気持ちを考えて育児をしようすると定時にはきちっと終わって、休みもとりやすいパートになってしまいます。『正職員』は、うらやましいですが、残業があると保育園・幼稚園・小学校などで待たされている子どもがかわいそうです。子どもには、なるべく身内とかかわって園よりも長い時間を過ごさせたいものです。最近は、子どもを産む年齢も上がってきていますが、出産・育児を終えて仕事が出来るようになったとき年齢でひつかかって就職がとてもむずかしくなっています。正職員だけでなく、パートや嘱託、臨時職員でも本人の希望があれば、元の職場で働きたりすると、とてもとても助かる人がたくさんいると思います。

・学校への行事参加で強制的なものが多いが、仕事をしていると出られないことがあります、肩身が狭い。勤務時間を8時間労働ではなく、もっと短くしてほしい。昔と違い効率も良くなっているのだから8時間でなくていいと思う。

・子育ては親だけでは困難が多い。やはり周囲の協力は不可欠。労働条件や環境が整っていればよいが、やはり子どもが小さいうちは、子育てや家事に専念すべきと思う。(もちろん、人それぞれ働きに出ていたほうがよい場合もあるだろうが)

・子育てをしながら仕事をすることへの理解が個々によって様々であり「母が子育てをするもの」という価値観は特に幼稚園にも多いような気がする。また、保育園は託児所的な考え方の方も多く文化省、厚労省と管轄の違いなのか幼保一元化を早急に求めたい。学童保育の充実も図ってほしい。子育てと仕事の両立はとても難しく、自分にも余裕がほしいので時間のゆとりと金銭面のゆとりを求め3人目の子どもはほしいが、なかなかふみきれない。また、仕事などの残務が多くストレスも多いこともその原因の1つである。

・子育て中の家庭に対する財政上の援助を充実してもらいたい。フランスのように家族数によって各種の公共料金や税金が割り引かれるような制度になることを望んでいます。また、企業、官公庁に対しての休日などの取得を徹底して義務づける法律も必要と考えます。有給休暇の取得は企業の大小を問わず低水準ではないかと思います。親族の協力がなければ仕事と子供との両立ができない現状をよくわかつていただきたい。親も自分の生活を楽しみながら子どもを育てる楽しみもまた手にできる社会になってほしく思います。

・旧鳥取市に住んでいますが、高齢化が進んで地域に人が少なく、小学校の子どもの日常の安全が心配。地域の役員などもなり手がなく、「地域で子育て」が物理的に難しくなっていると思う。

・『子育て』と『仕事』を両立できるほど器用ではない。どちらもやろうと思えばどちらもおろそかになると思う。自分も仕事をすれば経済的には楽になるだろうし、そうなれば2人、3人と子どもを養うことが出来るかもしれない。でも、子どもは、さみしいんじゃないのかな?と思う。「兄弟がいれば親がみていなくても大丈夫だから仕事すれば?」と言われることもある。自分の経験から言えば兄弟の存在は親の存在とは異なるものだった。やはり、子どもとしては親がいつでも自分のそばにいてくれるという「安心感」は常に持っていたい。そう思って育ってきたので自分は自分の子どもに常に安心感を与えてやりたいと思っている。親の存在が必要とされなくなる日までは100%『子育て』に専念したい。「人間を育てる」なんて、ものすごく大きな仕事だと思うけど・・・ほかにも仕事が出来るなんて余裕があつてうらやましい・・・逆を言えば、専念させてもらえる環境にあることがありがたいし、配偶者の理解というか意見が一致しているというのも、かなりありがたい。考えが甘いかな~?でも、いま自分が置かれている状況での率直な考えです。

・子育てで仕事を休むことが多く、リストラの対象になりそうで困る。実際に育休を取っていて、「会社にでるか、辞めるかどっちかにしてほしい」と会社から言われた同僚もいるので・・・①フレックスタイムの導入 ②非常勤・パートの人の就労条件と保障を正社員と同等のものとすること ③正社員の人もフレックスタイムとなって、パートの人と自由に交代でき、特に女性(もしくは夫でも)午後5時までには帰宅して、子どもと過ごせるような就労条件にすること(仕事は4時まで!とか)。

・結婚後、家庭に入り3人の子育てをしてきました。第1子は5年生、第3子は1年生になり少し時間ができ自己実現のため社会参加したいと考えています。ただ、長い夏休みのことを考えるとまだ第3子は小さいためパートでも出ることは難しいと考えています。まだ、自分自身のことは後にして、家庭について子どもを見るべきかなと考えています。

・「子育て」をしているというより、毎日我が子の身の安全を一番に考えて暮らしている感が強いです。子どもたちが犠牲になったニュースを聞く度、自分に我が子を守り通す力があるのかと不安に思ったりします。「仕事」を持つお母さんたちは、もっともっと心配なことでしょう。お父さんたちにも、もっと前面に出てきてくれる社会になると心強いのですが・・・

・幼児期、児童期の熱が出やすい時期などはどうしても仕事に就きにくい。急に休める環境には、ないと思う。やはり自分の親に預けられる人でないと働きにくいと思う。

・ゆとり教育という言葉をよく聞くが、学校を週休二日制にする前に、仕事を週休二日制にするのが先だと思う。しわ寄せで、子どもだけで留守番をすることが多々あり、心配が多い。

・赤ちゃんを見ると、かわいいなー、もう一度あの頃に戻りたいな、と思うけど、決して今からもう一人生もうとは思わない。児童手当もないし、子どもの医療費もバカにならない。(もちろん年齢的にもきつい)出産したとき、何ヵ月後かにまとまったお金はもらえるけど、そのときに必要だし、出産後もお腹に赤ちゃんがいるときも、病院に結構お金がかかる。保育園に入園させたとき(上の子が2歳、今から8年前)1ヶ月の保育料が60000円だった。私がパートで働く給料は右から左に動いている感じだった。それでも働いたのは、子育てで一日中一緒にいるとのすごいストレスを感じたから。これから、金銭面にも精神面にもサポートしてくれるようないと、子どもを産んで育てようという人は増えないと思う。

・放課後児童保育の時間の延長(PM7時ぐらいまで)、土曜の児童の安全な場所の提供(地区体育館や学校の体育館などの開放)仕事を持つ母親の身になれば色々あると思います。

・近所に全く子どもがいないため、子どもを産み育てやすい環境とは思わない。それ以外については、産み育てやすいといえると思います。

・この地域は人権教育をやりすぎです。差別、差別と必要以上言うこと自体、差別です。普通に暮らしても、こう、差別、差別とさわがれると、差別をうけている人たちは、かえって差別というものを意識してしまうと思います。そのように考えたりすることはないのでしょうか？他地域から引っ越してきましたが、ここの人権教育の行い方をみていると、皆、差別をするなと言っている人たちが、自己満足のためにやっているとしか見えません。差別のことを言うなら、この地域のモラルをもっと上げてください。障害者用の駐車場へ平気で止める、路上駐車をする、差別、差別と騒ぐ。すべて差別をする人たちがする行為です。人への迷惑も考えずに行動する人、多すぎます。モラルがあれば、差別はしません。大人が変われば子どもも変わります。子どものことを考えている人、少なすぎます。小学校のPTA会、平気で夜、行います。それが普通と皆思っています。小さい子どもはPTAをしているとき、そこで寝かせればいいと言います。いいわけありません。小さい子どもを連れて、夜出歩くことがおかしいとどうしてわからないのでしょうか？しかもそれが小学校のPTAです。見本になることを行なうならともかく、反対のことを平然とされ、困っています。これでは子ども、うめません。こここの地域は、おかしな人多すぎます。大人が子供￥どもの見本となることをしてください。子どもに悪影響です。子どものうちからキチンとしたモラルをつけさせてください。

・現在、ひとり親家庭（父子家庭）で、経済的にも厳しい状況で親に助けてもらっている面も多いですが、何年か経てば、今度は親の面倒を見る様になりますし、将来的不安が大きいです。また、変則的勤務をしており（夜勤・早遅あり）夜勤を月5回程行わないと、手当が大きいのでせざるを得ません。その分、子どもとの関る時間が減っているのが現状です。鳥取はほとんど共働きしないと生活が苦しいのが現状だと思います（都会は違うかもしれません）。児童扶養手当など、母子家庭にあっても父子家庭にはないところに正直、不満です。母子・父子共通に、ひとり親家庭に対する助成、補助の体制を検討していただきたいです。

・実際、職場には1年の育児休暇があり、二子を出産後、希望しました。しかし、復帰後には転勤。こちらの都合の良い職場への希望は、1年の育休を取らず、産後5ヶ月程度で復帰することが条件でした。職場側は強制ではないという対応ですが半強制的でした。子どもが小学生になった今でも上司の出張などにより人数的に余裕がないとの事で、学校の行事にはほとんど参加できない状況です。いくら、社会が子育てに協力的であっても、職場の状況、他の職場の仲間、配偶者の「子育て、子どものことは母親がするもの」という考え方など、気を使いながら子育てをしているのは私だけではないはず。仕事を辞めたお母さん方の話を聞くとやはり残業などがあるためなど言われる方も多いですが、生活のことを考えると仕事を辞めるわけにもいかず、辞めて次の働き口があるとも限らず、今は気を使いながら、いろんな人に助けてもらって育児をしている状況です。

・鳥取県は共働き率が全国的に高い地域です。私個人の考えとしては、女性の社会進出をうながす今の風潮は大いに反対です。なぜなら、子育てがおろそかになり、犯罪を多くし、学力低下につながると考えているからです。3つ子の～という言葉はない、子育ては短い時間でも十分接してやれば良い、などという言葉は、きちんと子育てができない人への単なるなぐさめの言葉でしかないと思います。あまりにも自分の時間が、自由になるお金が、と働く母親たちは子育てができていないと思います。子どもが自立するまでは、自分の欲や時間を削ってでも、子どものために尽くすべきだと思います。私は、自分が、自分の生き方が、としておられた子ども達の抱いてほしそうな姿を何回か見かけたことがあります。そして、その子達のストレスの矛先として私の子どもが何の理由もなく傷つけられたことがあります。とても悲しい思いをしました。確かに働かなくては成り立たない家庭があると思いますが、特別な場合を除いてと考えています。母親は絶対に子どものために家庭にいるべきです。働く母親を助けるサービスなどしても、少子化は止まらないでしょう。それよりも、子育てがひと段落した母親が働く職場、社会を作ることが、この日本の為になるのではないでしょうか。女が社会へ出て、犠牲なるのは子供達、そして将来の私たちです。

・子どもを産んでも女性が働きやすいように、保育園の入園規定などを大幅に見直してもらいたい。（教職など、一部の女性のみが優遇されないように）保育料や学費が思った以上に高くて驚いた。それを確保する為にも出産した女性が働きやすい環境を作るべきだ。

・鳥取県は夫の給料だけで生活できるほど、給料が多くないので子どもを育てるためには専業主婦になる期間がせめて子どもが3歳までぐらいは必要だと思うが、生活が出来ないため、やむなく働きに出なければならない。しかしながら、子どもがいれば病気、学校行事など休まないといけない事がたくさんあるので働きに出ても会社から、いい顔はされないし、給料は少なくなるし、子育ても十分にできないなど、悪循環な事ばかりになるので、子どもをもつのは非常に厳しいということになる。もっと子どもを安心して育てられる環境、経済力の確保など考えてほしい。

・現在、小学生の子ども2人の子育てをしながら、パートの仕事をしています。普段は、特に問題なく就業していますが、長期休暇（春休み、夏休み、冬休み）の時が困っています。まだ2人とも低学年なので留守番させるには不安があります。学校の学童保育に問い合わせたところ「年契約だから、ひと月単位では預かれない」と言われました。パート勤務の人はとても多くいらっしゃるでしょうし、パートとはいって、責任を持ってしっかり仕事をしていらっしゃる方がほとんどだと思います。子供が長期休みだからと言って、仕事を簡単に休むことは難しいでしょう。我が家の場合夫と協力し合って、お互いの休みをずらして、何とか乗り切っています。本当に必要とする時に柔軟な支援をして欲しいものだと思います。

・鳥取県へ転入してまだ短期間です。転入時の市の説明（どんな子育て支援があるか等）などなく、窓口もとても冷たく事務的で不安いっぽいです。

・鳥取という小さな町は、企業が少なく、雇われている社員も少なく、育休、産休がとれない会社が多いと思う。再就職は、また一から始まり、子どもが2人、3人・・・の多い家は、大変だと思う。また、医療費が家計を圧迫しており、大変苦しい。医療制度を他県のように就学児までは援助されるなど、お願いします。夫婦共働きなので、一番下の子（現小2）の放課後や、春、夏、秋、冬休みなどの受け入れ場など、考えていただければ、正職員にもなれるのにと、考えてやみません。

・夫と別居しています。収入は少ないのに、夫の収入も保育料計算時には加算されるので高くなります。戸籍上は夫婦だけれど、現状は母子家庭です。お金の為に、離婚に踏み切るのもどうかと思い、頑張っていますが、夫と連絡がとれる状況だということで、遺棄には、あたらないといわれました。ひとり親家庭が増えて、行政側も苦しい財政であると思いますが、精神的にも、物理的にも圧迫されている状況です。

・子育てと仕事の両立は周囲の協力がないととても難しいと思います。仕事をしていると、一番悩むのは子供どもが病気をした時です。長期休むのは、とても心苦しいです。会社側としても長く休むのは、いい思いをされていないと思います。育児休暇など取りやすくなったとはいえ、やはり長く休むのは気が引けます。少子化になってきていますが、いろいろな制度が変わったりしてきても、現実良くなっているのかな？と疑問に思うことがあります。もっと強制的な制度になって、社会全体が子育てに協力していくなければいけないと思います。

・昔のように近所づきあいがもっとあり、どこの子どもも、うちの子どものような感じが地域にあれば、もっと子育てしやすいように思います。子どもも「知らない人には挨拶もできない」そんな世の中になっていることが、子育てしにくい環境を生んでいるのではないでしょうか

・女性が仕事を見つけようとする時、勤務時間や休日などが重要視され、内容的なことは後回しになる。子どもの手がはなれるまでは、自由に選べず、そして子どもが大きくなる頃には自分の年齢も高くなり、仕事の範囲もせまくなる・・・女性って損？

・両立と簡単に言うが、大変です。どうしても働かないといけないのに、学校行事が平日だと困る。先生も土日だと困るだろうけど。

・仕事の出勤日と子どもの休日が重なると、どうしても休みをとらなければならなくなる。
どこかに引き受ける所はないのだろうか。

・小規模校でも、何らかの放課後支援の方法があれば、市内への人口の流出が少なくなるのでは？と思います。親と同居していても、田畠があったり、介護があったりと、核家族世帯と同じように親に頼れない場合が多く、同居しているからこそ、他に手助けを頼みにくい環境にあるので、もっと利用しやすい何かがあれば、とても助かります。

・子育ては出産前後より、その後の育児にかなりのお金と時間がかかります。（できるだけ子どもが必要としてくれている間は、子どもの行事に参加したいと思っているところではあります）うちには、子どもが3人いますが、子ども1人の家庭に比べ、かかるお金は3倍ではすみません。ですから、せめて中学までの間、いろいろな形で支援をお願いしたいです。子どもたちには、持っている才能を開花させるチャンスを与えるため、習い事（スポーツ教室、体験学習など）も、安価で各種あるとうれしいです。昔に比べ、ずいぶんイベントが増えたと思います。ますますの充実を期待します。

・子どもは日々成長し、保護者に日々驚き、感動を与えてくれます。生き甲斐であり、宝です。一日中一緒にいたいと思う（学校へ行っているとき）ことがあります、長期休暇で長い間一緒にいると疲れてくるのが事実です。母が仕事をしていて子どもにしづよせがいかないようにと考えてはいるのですが、我慢させることはあります。もし、私が仕事をしていなくて専業主婦だったら子どもにこういう思いはさせないので、考えることもあります。そんな時は、「親の背中を見て、子は育つ」そう自分に言っています。子育てにはお金がかかります。育児手当など言われていますが、学年が上がるにつれ、かかるお金が増えていくのは事実です。働かない子子どもの希望を叶えてやれないです。（金銭面で）

・子育ては精神的、経済的に十分な余裕がないと、うまくいかないと思う。保育サービスの充実や育児支援なども大切ではあるが、それらを利用するにも余裕がないとできない。昨今、育児する上で、母親の孤立化、負担増も言われている。家族や親族以外の者が支援していくことをなにか“特別なこと”として扱うのではなく、普通のこととして受容されるようになると良い。私自身は仕事も子育ても大変ではあるが、実りも多く楽しいものを感じている。しかし、仮に自分が病気になったり、何か困ったことなどおこったりすれば、子育てどころではなくなるのでは・・・と思っています。

・地元を離れているので、親を頼ることもできず、転勤族なので、せっかくできた友人とも離れなければならず・・・子どもが小さいうちは、本当に苦労しました。子ども3人のため、下の子が小学校に入ったら仕事をしたいと思っていますが、子どもを預かってくれる施設がもっと増えたらいいのにと思います。夏休みなどの長期休暇の時も困りますし・・・

・現在は内職をしていますが、外で働きたいと考えています。理由としては、教育費がかかることで、それと同時に外に出ることで、子どもを置いておく（夏休みなど）不安もあります。

・幼稚園でも延長保育を19時までにしてほしい。18時までというのは、仕事をしていれば無理。仕事とは関係ないが、住居でもっと子育て中の人でも住みやすい市営、町営住宅のようなものがあればいいと思う。（金銭面的に）

・子どもを預けられるまで親が子育てしたいものの、経済的にも苦しく、学校に行くようになれば、学校行事に時間をとられ、仕事時間をカットしなければいけないという、とても不利なことばかりです。勤務時間の制限で、仕方なく時間が短く自分のやりたい仕事にもつけません。子育てが余裕を持ってできればいいのにと思います。

・退職すると次の仕事がなかなか見つからない。（Uターンの場合）再就職は年齢的にみても難しい。公務員の40代前後に再就職試験を始めた都市があるというのを見たことがあるが、Iターン、Uターンには、良い話のように思う。児童数が減っている所（小学校）に大きな小学校並みの学校活動を求められても、保護者は地域、家庭、育児とそれ以外にも出て行かなければいけないので、ゆっくりと夜、子どもと過ごす時間がとても少ないように思います。「○○活動」が多すぎると思います。市P連、文化、同推、保育、生活、その他・・・大きな学校と同じでなくても、と思います。

・今の保育園は育児休暇中だと、上の子は保育園に入れません。途中でも辞めなければいけません。仕事を持たないと、保育園に入れないし、一番体を休めたい出産後でも子どもを見ててくれる場所がないのは、ものすごくつらいです。少子化と言われても子どもはものすごく産みにくいです。少し大きくなり、小学生になると、土日の休みに行事が集中して・・・子どもの事、仕事、家の事をするのは大変です。

・自分の都合に100%合った仕事先を見つけるのは難しく、結局子どもの生活にしづ寄せがいきます。子どもが熱を出せば3、4日続けて休むことは多く、そんな時に、おじいさんやおばあさん等、見ててくれる方がいれば有難いのですが、母親（自分）しかいないとなると、仕事をしたくても就けないのが現状です。一度、正社員を辞めると、子どもを持ちながら核家族で仕事をしようとするとパート位しかなく、しかも自給が安いのでファミリーサポートを時には利用したいとも思いますが、その預かっていた代金の方が自給より高くなり、なかなか踏み出せません。

・以前は転勤が多く、配偶者は夜遅く帰り、出勤も早く子育てを手伝える状況ではありませんでした。共働きの為の保育所を作ったりするよりは、一部の人にだけ長時間労働をさせる社会の仕組みを変える必要があると思います。企業は短時間労働者を増やし、定時退社出来る環境を作っていくなど他人に預け、子育てしてもらうのではなく、夫婦で助け合っていける様にしてほしいです。今春、鳥取に転居し永住する予定で近くに祖父母もいるので預けることができますが、小学校の行事、集まりなどは預ける人がいないと参加しにくいものもあり、もし転勤で鳥取に住んでいたら、子育てしにくいかもと思うこともあります。

・仕事をするにあたって、子育ての両立をしようと思うと、家族の協力、助けがなければできない状況です。核家族であること、子供を安心して預けられる公共施設がない（あるかもしれませんのが情報不足で分かりません）など、仕事をしたくても出来ない現状です。（年齢制限もあると思いますが）子どもだけで留守番できる年齢ではないと思いますし、何かあった時には親の責任だと思いますので。

・主人の職場がなかなか忙しく、父親の育児参加が難しく、母親ばかり負担になり今まで働ける状態にありません。今は将来就職に有利になるように、在宅で勉強して、資格取得に励んでいます。小学校の学童保育ですが、子どもの通っている小学校はなく、今後も期待できません。あと、他のある小学校でも5時までで小3以下までと聞いています。もう少し、せめて6時半ぐらいまで、全学年みてくれたらいいという声が多いです。

・仕事をしていると子どものため（病院など）に休んだり、早退をする事で、いやみを言われたりする。面接の時に小さな子どもがいると休むことがあるので、と何度も言われる。

子どもがたくさんいるのに働くことが出来ない。母子手当でも子ども一人だと多くもらえるが、3、4人では足らない。こんな事だったら産まなければ良かったと思ってしまう。

・私自身は両親、配偶者の協力を得られているし、学校（担任の先生など）とも十分協力が得られており、とても満足しております。しかし、核家族で共働きの方など、例えば保育園を卒園し、小学校入学までの期間（4/1～入学式まで）子どもの受け皿がないなど困ってらっしゃる方などを見聞きすると、そういうのに対応するシステムがあれば、と思います。また、育休（10ヶ月で出ました）、産休はいただけましたが、例えば深夜業務ははずしてもらえるとか夜の会議は休ませてもらえるとか、なかなか休みは取りにくい、働くのはきびしいと心の底より思い感じております。

・小学校に入学すると放課後・夏休みなどがあり、放課後児童クラブなど利用しても、まだ土曜日などが休みのクラブなどもあり、今の時代、土日が休みの職場は限りなく少ない為、仕事の選択ができなかったり、パートの勤務しかできなかつたりと核家族の増加に、そういう対策が遅い気がします。

・元教員です。転勤族の主人と結婚したので仕事を辞めましたが後悔はしていません。ただ、教員には産休・育休制度も充実しており、子育てしながらでも働けるのは、とても良いことで、知り合いもたくさん両立させています。（3人産む人も多い！！）他の職業も臨時に代わりの人を雇えるような制度が確立されれば、もっと産み育てやすい世の中になると思います。

・学童保育は5時までの所が多く、幼稚園の延長保育は6時までがほとんどです。正社員で勤務時間が5時までの所はほとんどありません。親が迎えに行ける7時くらいまで延長してほしいです。短時間勤務どころか育休の取得もできない会社がほとんどです。2人目を産みたくても仕事を辞めなくてはいけない状況になるので断念する方がほとんどです。延長、一時、病児保育を早急に充実させてほしいです。手当てばかり増やしても、子どもを産む人はいません。

・お金のある人は、いくらでもいろいろなサービスを受けられますが、働かざるを得ない・・・収入が減るから休めないと保育料、授業料を払うためになかなか時間がないという話は鳥取では、よく聞きます。国は幼児のことばかり言っていますが、子どもが大きくなるのにつれて、もっともっと必要です。保育料を58000円払ったこともありますが、大きくなれば、もっともっとあります。児童手当はとっても助かりますが、中学、高校、大学の子どもをお持ちの家庭にも目を向けてほしいです。不安ばかりです。どうぞ、世間の子育てしている私たちによりよい環境をお願いします。

・児童手当が長い間もらえて全然うれしくありません。お金に困っているから少子化になるのではありません。産める環境にしてくれないからです。つわりがあったり、体調が悪くなったり、妊娠中はいろいろトラブルがありました。それなのに、休めない、休みにくいのです。あんな大きなお腹で体調が悪くなると立っているのも辛いです。それなのに休めないです。あんな思いまでして子どもを何人も産めという方が間違っていると思います。出産後も大変です。小さな子どもは病気になります。大人みたいにすぐ治るものではありません。心配でも一日一緒にいてあげたくても、なかなか休めません。病院へ行き、祖父母に預けるか保育園へ連れて行くしか出来ません。子育てする親が休みやすくなるようにしていただきたいです。理解してくれない40代、50代の会社の人間（男女両方います）に腹が立ちます。少子化対策は誰のためなのでしょうか？年金や税金が少なくなると困るからですか？そんな為に子どもを産みたくありません。

・子育てと仕事を両立していきたい思いは強いのですが、子どもの病気や行事（学校）等の際、休みが取れず困ることが多々あります。支援サービス業務も色々あるのですが、時間帯や家から遠いこともあります。なかなか利用できないのが現実です。また、続けて産休や育児休暇をとりにくく職場の雰囲気もあり、3人目の妊娠が分かったときは、一度退職しました。希望職場にパート・アルバイト採用がないのも悩みです。仕事と育児の難しさを感じています。

・小学生になると専用施設（ショートステイ、トワイライトステイなど）の使用が難しくなります。（通学がある為）病児施設も3年生までのように、やはり小学校を卒業する頃までは、一人で家に置いておくことが心配です。子どものこととはいえ、仕事を休めない時はとても困るので、専用施設の使用が充実すると助かります。

・保育所の保育士の質が年々低下しているように思います。待機児童をなくすのもいいと思いますが、そのため園児数が増えて、保育士の確保に苦労されて、質にこだわらず採用されているのでは？と思うことがあります。その点、私立の幼稚園の先生は長期で、その園におられることがあります。とてもベテランで感じも良かったです。フルタイムで働いている家庭は保育園でないと預けられないですが（残業があるため）、幼稚園でも延長保育（19時頃まで）が実施されれば・・・と願っています。

・子育てと仕事を両立したい。子育て重視の考えなので仕事をする時間に制限がある。子どもを学校に送り届けてから出勤し、子どもが学校から帰ってくるまでに帰宅できればとても良いと思う。または、家でできる仕事が良いと思う。

・鳥取は仕事をする職場が少ない。大学が少ないので、県外に進学させる為に多額の費用が子供にかかるのに、職場が少なく、賃金も安い。幼稚園も国立は一つあるが私立ばかりで学費がかかる。県外では就学未満の医療費負担が鳥取より少なくてすむ所が多い。公園が少なく、遊具も古い。

・仕事を理由に幼稚園や学校の行事、作業に参加されない人に対して、あまりいい気はしない。「仕事があるから」と言わされたら、返す言葉がないから。

・せめて一番下の子どもが小学校に入学するまでは、病気や、保育園、幼稚園での行事の参加などに出られるような職場の休暇への理解を願いたい。男性よりも、女性（年をとった職場の上司）が女性に対して差別的。（自分たちの時は子どもがいても仕事上では配慮してもらえなかつたことが根深くあるためか、なかなか理解が得られないことがある）夫の家事、育児への協力と参加、学校行事等への積極的参加を望む。第二子からの教育費の公的な援助を望む（収入には関係なし）。

・湖山小学校区に住んでいますが、この辺りは学童保育がないため働きに出たくても、でられません。今はまだ子どもが小さいので何とかなりますが、これからは働かなければ生活できないのに（経済的に）、子どもを放任してまで働きに出られない・・・湖山小学校区内での、学童保育を作ってほしいです。

・仕事はしたいと思うのですが、時間が思う様に取れないで難しいと思うことが多いです。家の中で出来る仕事も色々考えたりしてみるものの、一度仕事を辞めているので、一步踏み出すのに時間がかかる気がします。仕事をするには、続けられる仕事を、と思い自分に合った仕事かどうか考えます。子どもが理解できる、母親がいなくても自分たちで色々できる自信がついてくれるともっと仕事を探そうという思い入れも強くなると思うのですが、大丈夫かなという心配のほうが多く、仕事に出ることに少しめらいがあります。一方では、子どもたちを言い訳に使っているのかもしれないと思う自分もいます。

・もっと子どものためになる制度を作りたいです。例えば、病院代、薬代、その他の事。病院が土日休みってどういう事なのでしょう！普通は、子供たちは土日が休みです。学校は休ませたくないで、土曜などに連れて行きたくても、料金が高くなる。医者はいない。午後も料金が高い。どうにかなりませんか？

・鳥取県は女性就業率1位、中絶手術1位といい、子育てに困りたいけど、給料が父親のだけでは生活できないほど少なく、結局共働きになり、子供を十分にみてあげられない状態になり、子供は「遊び」で寂しさをまぎらわす傾向にあると思う。育児支援をもっとしていただきたいし、育児手当を第一子より月1万円にしていただき、もっと女性が働くくとも十分に生活していくよう企業のベースアップも計ってもらいたい。

・仕事はしないよりした方が良いとは思うが、あまり積極的になれない。子どもの病気や学校の事など休みを取らなくてはならないのは、母親である私であり（夫はすぐに休める仕事ではない）、また、仕事を探す場合も面接において、子どもが小さいこと、病期などの時休まなくてはならない事などを必ずといってよい程、聞かれる。そしてダメになる。そういう事が重なり、仕事を探す事も積極的になれないでいます。私の周囲の人々も、子どもをかかえて、仕事をすることのつらさを感じています。そもそも、保育園に入園させるにしても、入園1ヶ月後には、仕事先を決めなくてはならず、とりあえず仕事を決める為、とんでもない時間や長時間労働をしなくてはいけなくなるなど、本当に大変でした。また、卒園時も卒園する日と入学までに期間があり、子どもを誰に見てもらうかと悩む家庭も多いようです。とにかく、お金がかかります。預かってもらうにしても何にしても、お金あってのことです。本当つらいです。

・子どもが小さいと残業や休日出勤などが続くととても寂しがります。かと言つて、「子どもが泣くから・・・」と会社を休むわけにもいかない。家計を豊かにして家族が楽しく暮らるために働いているのに収入を増やそうとすると、子どもにかまっていられない。会社にしたがうしかありません。宿題をみてあげたくても、帰宅してごはんを食べて風呂に入れたら9時前。本を読んであげたり、1日の出来事を話したりしていたら、あっという間に9時です。もっと子どもと一緒に時間をとりたいです。午前10時～午後4時くらいの仕事がもっとたくさんあればいいのに、と思います。

・私の地域では児童館という、保育園に準じたような施設がありますが、延長保育や保育費の形態が違うため、過疎化なのに市内に入園される方が多く、数人しか児童が入園していません。また、少人数の児童のため、遊びに行くのも遠く、低学年は移動範囲も狭いので家で一人遊びをすることが多く、登下校も少人数でなにかと心配です。

・子育てを優先して仕事をしたいと思うが、現状、夫の職場に子育てを優先して仕事をしている社員がいると、その人の出来ない分が夫の負担となってくる。時間的拘束が多いので、夫に子育ての協力が求めにくい。専業主婦で子育てをしている妻がいるから（その夫に仕事負担を回すことができるから）子育てを優先して仕事ができていることを忘れないで欲しい。子どもは産めば良いだけでなく、自分で育てていくことが大切なのは？何もかも人に任せて、育てていてはどうだろうか？歪んだ人間を増産している気がしてならない。子育て支援は共働き家庭にばかり向かっている様に感じる。どんな“日本の子”を育てていきたいのですか？

・子どもを遊ばせる公園が近くになく、広いところ一応公園であってもボールで遊んではダメ、声がうるさい、など近くの住民に言われ、近くにあっても、遊ばせてあげられない。
もっと子どもが思いっきり遊べる所がほしい。

・ベビーシッターやファミリーサポートセンターが、中途半端で条件にあった人が見つけられない。

・鳥取は私立幼稚園が多く、教育費の負担は子供が小さい時期で、親の収入も少ない年代にかかる大変。核家族で近くに頼れる人がいない場合、仕事を始めたくてもできない。

・出産後1年以上育児休暇をとり、家事、子育てをしていたが、1年経った頃に上の子が保育園に行けなくなり、下の子の子育てが十分にできなかつた。市と合併してから、たくさん不便なことがでてきた。仕事で小学校にあがるまでは夜勤免除をとる権利はあるが、実際は人員不足等で難しい。

・仕事をしながら子育てをするのは大変であるが、仕事をしている母親の姿を子どもに見せてやり、子どもが自分でできることは、自分でやっていかなければならないという気持ちを持って欲しいと願っている。子どもは環境によって随分育ち方が違つてくるので、より良い環境を育つてやるのが親の役目でないかと思っているが、親によっては、よりよい環境とは何なのかという考え方、価値観が違うと思う。私自身、また家族が常に話し合い、意見交流をし、子育てにおいて一貫性をもった育て方で接してやりたいと思っている。現在の社会では家族という小さな社会集団がもろく、学校や地域、友達に責任をなすりつけがちだが、大切なのは家族であり、その集団がどう考えどう接するかではないかと思う。

・子ども、家庭のために仕事を続けていますが、そのために子どもをはじめ皆に多大な迷惑をかけ、また自分自身の身もけずる思いもあり・・・でも、仕事、子育て両を通じて成長させてもらっているのも確かです。職場にもありますが、人と出会うことは良いことと思いました。

・子育て、仕事も楽しんでしなくてはだめだと思います。仕方がないとか、義務感では子どもがかわいそうです。自分も楽しくない。

・職場に子育てに対する理解が得られない。

・少子化という割には、国、県、市の政策に子育てが難しい。

・小学校他、学童がない地域がある。それに順ずる場所があつてもよいのではないか。子どもを預けるのに安心できる場所がほしい。地元の人ばかりではない。転勤族も多いはず。祖父母がみてくれる家庭ばかりではないはず。鳥取は保守的、閉鎖的だと思う。

・子育てと仕事を両立する為には、家（祖父・祖母）の協力がないととても大変です。また、学校行事（参觀、懇談、運動会など）も勤務先へ休みをもらう為には、なかなかよい顔はされず、子どもが少ない（子どもが大事！？）とされているこの世の中なのに、こんなに親は我慢しながら子どもを育てていくのはなぜ？と疑問もあり、いつも頭を悩ませています。もっと私は積極的に学校行事に参加して、皆さん（先生）と触れ合う時間がほしいのに、と思っていますが、なかなか思うようにできないのが現実です。

・仕事をしなければ、生計をたてることができないが、子どもたちの自由を取り上げているような気がする。夜、父母の帰りを祖父母宅で待っているが、遅くなった日は眠っているときもある。「本当にこれでいいのか?」と考えることが良くある。1番に子どものことを考えても、帰宅が遅ければ自由に動けないイライラを子どもにぶつけてしまうこともある。祖父母の助けがなければ、仕事は続けられないことを実感する。親だけでは子育ては非常に難しい。

・再就職するとき、子どもが小さいから断られた所がありました。親が見てくれるから大丈夫と言っても聞いてもらえないかった。子どもが小さい=病気する=休むと勝手に決め付けられている気がします。育児休養も1年間取れるのに6ヶ月にした理由も、仕事に復帰するとき、自分の居場所があるかどうか不安だった為。

・子育て、家事と仕事をめいっぱいこなしている毎日です。一日があつという間に過ぎていきます。自然に囲まれて子供ものびのび生活できるのですが、少子化でこれからが心配です。便利な豊かな生活に子ども達とどう向き合っていくか考えていきたいです。

・子どもを産むこと、子育てはとても大変だしお金もかかります。だから夫婦で働くかなければ生活していけないのが現状だと思います。保育園に預けなければ働くけど保育料は高いし、幼稚園は少し安いけれど時間が短いし・・・と、なかなか子どもを育てようと思えないのではないかでしょうか。昔のように大家族で、子どもを安心してみてもらえる時のようにはいかないです。

・出産、育児の為、仕事を辞めました。子育ても落ち着き、いざ再就職と思った時には、年齢制限もきびしく、条件の合うものがなく困っています。もう少し、私たちのような立場の人間に働きやすく子育てしやすい状態がつくられればと思います。

・子育ての為には仕事（お金を稼ぐこと）が必要であり、仕事をするには、安心して子どもを預けたり見てくれたりする施設が必要です。鳥取県の女性の約半数は仕事を持っております、もっともっとそれらを活用する為にも、放課後児童クラブなどを充実させていく必要があります。自治体によりきちんと整備されている地域もあれば全くないところもあり、不公平を感じます。もっと住民の生の声を吸い上げられる仕組みづくりをして欲しい。また、団塊世代などの人材活用は今後、重要であると思います（元教員など）。○○だからできない！ではなく、△△するためにはどうしたらできるか！という前向きな考え方や発想に変えていって欲しいです。

・「子育て」と「仕事」を両立するには、職場の環境に大きく左右されると思う。「子育てしやすい職場」となると、仕事を続けようと思うが、休暇もなかなかとりにくい中、仕事を辞めることを考えてしまうことが多いです。

・夏休みに入ったら、子どもを余裕を持って見てあげられますが、学校がある時は、土日ぐらいしかまともに子育てしてあげられなくて、よく学校、幼稚園の行事や持たせるものを忘れたりと、子どもに悲しい思いをさせているのが現状です。親がしっかりしていればよいのですが、仕事の帰りが遅いと様々な事がおろそかになりがちで、もう少し大きくなれば落ち着いてそんな悩みも解決すると思いますが…

・夫の仕事が忙しすぎて家にいないので、困ることが多い。パートでさえ、子どものことを犠牲にしてしまう。女が働くのは相当な負担。

・母子家庭です。収入も思うように伸びず、子どもが小学校に入ってから給食費、学級費、その他あれがいる、これがいる・・・といった形で出費がふくらんでいます。でも、児童扶養手当は、年収が下がっても、減少し続けていきます。収入を考えると、子どもに我慢させなければいけないような感じです。子どもが豊かに安心して生活していくような社会が戻ってくるのを望んでいます。私が育った時代（1970～80年代）がとてもよかったです。もう行政だけではどうしようもないでしょうね・・・学校の教育の進め方にも疑問を感じます。

・仕事と子育てもとても大切だと思います。両立させるにはとても大変で“ストレス”を発散させるため、いろいろしたいと思いますが、子どもをおいて何かするというのは勇気がいります。今の社会は子どもも大人も色々しばられることがあり、お互いストレスがたまっているのでは……と思います。

・「子育て」(単なる養育ではなく心身ともに健全に育てていくこと)と「仕事」を両立させていくには、親にも子にも何らかの犠牲が伴っているように感じます。学校の学習参観でも、懇談まで残られる保護者は非常に少なく、働く親が子どものために時間をとることが難しい現状のように思います。フレックス制度や短時間労働など、大都市の大企業での取り組みは聞いたことがあります、鳥取ではどうなのでしょう。現状を何とも知りませんが利用する人の多少に閑らず、制度としてはぜひ存在してほしいと思います。そうでなければ、利用したいと思う人も現れないからです。子育てをサポートする制度の選択肢が多ければ多いほど子供を産み育てるのに良い環境になると思います。また、女性の職場環境だけでなく、男性の職場環境の整備も不可欠です。(出産の立会いや、育児・看護のための休みがとりやすいか、それによる不利益が生じないか等) 制度はあっても、周囲の理解はどれほど得られているでしょうか。少子高齢化社会にあって、人口の少なさをものともせず、全国の自治体のモデルとなるような鳥取県となることを期待します。

・小学年生の女の子がいますが、集団登下校ではないので不安を感じています。友達と別れて一人になるとこまでは毎日必ず迎えに行きます。下校後、友達と遊ぶ約束をしてきても、送り迎えをしています。こんなことをしていては子どもが自立しないのではないかという心配もありますが、「もし何があったら」という気持ちはぬぐいきれません。私たちの子どもの頃のように子どもを安心して家の外に出してやれる環境、犯罪のない世の中になってほしいと思います。

・派遣社員で登録しているが、短時間の仕事はないと言われ、子どもがある程度大きくなって安心できない限りきちんと仕事にはつけないと思った。人に頼らず子育てを自分の責任でやりたいと思ってはいるが、主人の仕事でも給料が不況のため下がってきてるので、少しは家計のために仕事もしたいと思うが、条件つきな人間に仕事を探すのは難しいと思った。こういう環境で子どもをたくさんもうけたいと思うのは、かなり無理があると思う。子育てにはお金がかかるという現実を知るべきだと思う。

・子育て、一言で言えば簡単ですが、私も3人の子どもがいます。上の子は21歳～あと2人。大きくなるにつれ、自分では正しいと思って育てても、間違いだったのかなーとか思い、本当に子育ては難しいと思います。生まれてきたとき、「素直な明るい子に・・・」なんて簡単に言っているけど、本当にそのように育てることの大変さをすごく知りました。

・私は子供が3人いますが、2人目を産む時、1度仕事を辞めました。そのまま仕事を続けていれば、時間や仕事への影響も考え3人目は産めなかつかもしません。ただ産んだら産んだでお金がかかります。少し手がはなれたら、また仕事をしないと生活も大変です。その時、仕事を探すのはなかなか大変でした。子どもを産みたい人はたくさんいると思います。でも仕事の両立、経済的問題は大きいと思います。子育てへの補助 会社のありよう いろいろ問題はあっても協力して国としても子どもを産み育てやすいよう考えてもらえた、と思います。

・子育て支援事業（ファミリーサポートセンター）というものがあって、兄弟の結婚式のときと祖母の重体のときに一回だけ臨時に預かって欲しいとお願いしたが、「たった1回だけのために慣れない人に子どもを預けるなんて子どもがかわいそうでしょう。1回だけの事はウチでは受け付けていません。親戚や近所の方に預けられたらどうですか？」と言われた。もっと急な時でも気軽に預けられる場所が欲しい。手続きなどがあり、臨時は無理なのかもしれないが、がっかりした。臨時の時こそ必要なのに。以前いた所では（他県）私立幼稚園の就園奨励費が国のすすめている基準程度はあったが、こちらでは奨励費の基準が厳しすぎて、恩恵がない。子育てをしていると何かと費用がかかるのに奨励費を出さないのは子どもはどうでもいいという事だろうか。公共施設（プール・博物館・子供向けのもの）には子供は使用料金がかからないのは気軽に連れて行ってあげられるので非常にありがたいと思っている。

・主人が亡くなつたので子育てのために仕事をしようと思って探しましたが鳥取は賃金が低すぎます。時給 700 円位の仕事しかなく、子育てするには少なすぎます。資格をとつて働いていますが、責任が重いと子育てがおろそかになるし・・・ひとりで子育てしながら働くのは大変です。保育所や学童保育など子供を預ける場所があり、とても助かっていますが、鳥取には条件のいい仕事が少ないです。

・景気が悪かった影響で夫の仕事、ストレスが厳しくなり、どんどん子供を産み育てることが難しくなっています。環境は良いと思うので、あと 2 人は欲しいのですが収入が減り増える見込みがない場合、子ども 1 人にかかる教育費が増加する一方なので、どうしても無理になってしまいます。児童手当も、少しの額をまとめて 4 ヶ月たたないともらえないし、幼稚園などはとてもお金がかかり少々の補助では足りないものがあります。子供の将来を考えると公共の教育・補助には限界があり、そのラインは低いような気がします。

・いざという時に子どもを預けることの出来る人はよいが、共働きでたちまち困るし、また職場が休みにくい雰囲気の場合、両立はむずかしいと思う。少子化対策と言っても、もっと職場自体子どもが病気の時とか学校行事等に休暇をとれるように（時間休でも）するべきだと思うし、行政のほうからも働きかけてほしい。

・「仕事と子育ての両立」は母親が働いている場合は特にことあるごとに問題になり社会にも話題になることがあります「家庭」や「家族」のあり方が多様化し複雑になったとしても、母と子を中心とする子育てとその原則のようなものは昔と何ら変わるものではないと思う。母（または父、または親にかわる人）が子育てできないからと行政がなにか「子育て支援」を考えるよりも、家庭の力（機能）を強化し、親育てをする方がこれから子育てには必要なのではないか。正しい子育てなんて私は言えないけど正しくありたいから子供たちには、きちんと躾をしたいし、私も親として成長していきたいと思っている。現在、仕事をしていないが、勤務していた時には見えなかつたものが色々見えるようになった。

・近所の子ども達と一緒に保育園に通わせるために仕事を始めました。しかし、仕事を持つと簡単に仕事を休むわけにもいかず、子どもの体調が少し思わしくないくらいならば無理をして保育園に行かせたり長時間寝かせてやりたいところを早く起こし登園させたりしました。私が仕事をしていなければ・・・と思う反面、子どもを社会の共同生活の中に入れ、友達を増やし、もまれて成長させてやりたいと思う気持ちもあります。幼稚園という事も考えましたが、幼稚園になると遠くなり、時間帯も違うため、結局孤立してしまうのではないかと思いました。小学校に行くようになるとまた別の友達を最初から作らなければならなくなるし・・・。子どものためにと思い仕事を始めたのに、子どものために仕事を何度も休むことになり、子どもがいるために仕事を辞めさせられました。

延長保育や病後時保育などいろいろありますが、そんな時こそ親が側にいてやるべきだと思います。それよりも、もっと働きやすい職場環境になるように社会が働きかけないといけないと思います。子どもをゆっくり育てたい人にも仕事をしたい人にも悪循環にならないような環境になってほしいです。

・子どもは自分一人では育てられないものです。子どもにかかる教育費もばかにはなりません。育児手当の拡大ももう少し、いえ、もっと拡大してほしいと思います。子育てる時期は長くないけど、子育てしにくい世の中になっていることは事実です。田舎は特に子どもが遊べる場所が少なく市内へ出かけて子育てするような方がたくさんあります。また、仕事も兼業農家では、本当に忙しく子どもと接する時間があまりもたれず、気づいたときには子どもが大きくなっていて、後悔の念もあり・・・、と複雑です。老人のことは、いま大きく取り上げられ、それも事実なので仕方のないことですが。もっとどうすれば少子化が減るかという事をもっと考えてほしいと思います。母親が仕事に出る場合は、家族の協力は必須です。

・仕事をしたいのに子どものいる家庭は子どものために休みをとったりしないといけない日もあるけど、それに対して会社側がもっと子育てに対していろんな面で協力して欲しい。少子化といわれ、もっと子どもを・・・と言われるわりには、会社や保育園などはまだまだ協力していない。子どものために育てやすい会社や保育施設などを作つて欲しい。今の会社や保育施設では、子どもと仕事を両立させることは無理です！！どの企業も見直して欲しいです！！保育園もいっぱいでなかなか預かってもらえないで働くことができません。なんとかしてください！！

・私が働いている会社は個人経営なので「子育て」に時間をあてたい場合、その都度、経営者に“お願ひ”しないといけなかった。明確な権利（？）があれば、あまり肩身の狭い思いをせずにすむと思うのだが・・・。

・子育てと仕事を両立するためには今ままの男性側の関わり方や社会の支援体制だとまだまだ女性に負担が重い氣がする。また、子育てをしている女性のほうがしていない女性に比べて圧倒的に仕事を続ける上での収入面、昇格、昇給などの待遇面での可能性においてふりになってしまるのは明白です。それでも子供を育てる喜び、楽しみが勝ると思えるから私は一旦、社会を(会社を)退いたことを後悔はしていません。ただこれからは再び就職したときにやりがいがある、また、実力しだいでは昇給、昇格も可能性がある仕事に就くことが当たり前にできるようになれば結婚、出産に二の足を踏む女性も産んでみてもいいかなと思うのではないでしょうか。家庭や育児が自分の人生、キャリアの足かせになっていると思えるから家庭を持つこと、育児に夢をもてないでいるのが現状なのではないでしょうか。後、子育てが落ち着いて、働きに出ても今度は介護が女性の務めという風潮があるために、またそちらにかかりだされて、やはり女性が社会の中で十分に活躍する機会は奪われているように思います。こちらも女性だけに任せのではなく男性、地域、行政などで上手に分担していかなければ女性は夢を持てないのでしょうか。これからの時代を見据えたよりよい政策を期待しております。

・家を新築して6年目になります。共働きで返済していますが、主人は土木建設業のため年々、給料が減り、ボーナスも2～3年出ていませんし、今後も出る見込みはありません。住宅ローン申し込み時よりも主人の総支給額が約70万円減ったため、生活が苦しくなり（貯金も無くなり）、私が残業・休日出勤などで何とか足りない分を補っています。私は派遣のため、今の仕事がいつまで続くのかわかりませんので、2人目・3人目の子どもが欲しいのですが、私の収入が無くなると、生活ができないので、子どもが欲しくても作らないようにしています（第1子は、兄弟が欲しいと言っていますが…）。社員なら、育児休暇などもあり、仕事復帰もできますし、会社からお祝い金なども出るところもあるようです。できれば、妻がパート・派遣の共働きの夫婦に100万円の出産援助金（内訳：出産準備・通院20万円+出産費用30万円+養育費50万円）を出してほしいです。祖父も祖母も50～60代でまだまだ現役で働いていて、定年以降も働かないと年金では生活できないと言って働いています。孫の面倒をみたくてもみる余裕（時間とお金）はありませんので、祖父も祖母の生活も大変なようです。なので、出産後、働きたくても、親に子どもを預けることはできませんので、保育園に預けることになりますが、保育料が安くて延長保育や病気などでも預かっていただける保育園が近所にないと大変困ります。私の周りには子育てで職場を退職した友達がたくさんいますが、「子どもが小さいと病気の時には早退や休暇をとらないといけなくなり、会社や職場の人たちに迷惑がかかる」と言って、仕事をしたくても小学校中学年になるまで専業主婦でいるようです。2人目の子どもを作らないで生活のために働いている私ですが、営業の仕事をしていて感じるのですが、いろいろな会社を訪問しても25～35歳くらいの同世代の女性が少なく、職場に活気がありません。働き盛りの女性のやる気が職場の雰囲気を良くし、会社にも活気が出てくるのではないかと思いますので、子育て時期の女性の支援をお願いします。

・世の中自体が子育てする者にもっと優遇されたものになってほしい。

・仕事と子育てを両立させる仕組みも必要ですが、一時的に仕事をやめても、復職できる環境も整えてほしいと思います。いろいろな制約があるので仕方がないことかもしれません、現状の保育支援は中途半端で安心して子どもを預けて働くものではないと思います。

・子どもに関しての休みを取るとき、とても気を使った。仕事場の人数が少ないため、子どものことで急に休まざるを得ないときの連絡がとてもし辛かった。子どものいない人にも「子育て」と「仕事」の両立がいかにたいへんであるかを知って欲しいと思う。

・問7の質問内容がおかしいと思う。どれをとっても必要なものだと思う。が、職種、労働条件（環境）、その人自信の子育ての環境（生活環境）自身の（または配偶者の）親との関わり方など、様々な状況の違いがあることを理解できていないのではないでしょうか？

・予定日より3ヶ月近く早く出産し、子どもは極低出生体重児であった。産前産後休暇は出産予定日を基準に設定されているが、早産してしまうと、産前休暇を損することになる。私の場合は、産前休暇は出産日の1日だけとなり、55日も産前休暇が短縮されることになる。現在は、育休も3年取得できるようになっているが、取得するのはごく少数ではないだろうか？未熟児の成長は遅く、医療費もかかる。リスクなく生まれた子供と同じくらいに成長するまで親の負担は大きい。例えば、産休が、出産予定日まで保証されるだけでも給与・休暇の面で親の負担は軽減できると思う。現在の制度であれば、早産した者に対して格差があり、仕事にも影響が出てくる。

・子育て、仕事の両立に関し、もっとも困っているのは、学校行事への参加が難しいことです。特に休日出勤により、大きなイベントに参加できないことがあります。少なくとも子どもが小さいうちは、社会的に、学校行事への参加は社会人としての最優先事項である、とのコンセンサスがあれば、と思います。現状は、どうしても仕事優先で動かざるを得ません。また、配偶者は教員ですが、部活動顧問など、通常業務以外の業務で休日出勤を強いられることが多く、本当に困っています。子育てを支援して頂けるのなら、せめて教員などの公務員ぐらいは、育児中の者については、休日出勤は命じない（休日は部活動させない、部の顧問をさせない、など）ぐらい強い縛りがあればと思います。これはすぐにできるのではないか。よろしくお願ひします。

・子育てを優先したいと思いながら実際にはそうはいきません。仕事の責任を優先せざるをえないという感じで、いつも子供に我慢させています。小学生の子を放課後保育に預けていますが、夏休みの放課後保育の役員やプール当番、懇談会などでたびたび仕事を休まなくてはならず、仕事にも負担がかかってきます。そのため、仕事を家に持ち帰ったり残業したりと、また家事と子育てがおざなりになってしまいます。経済的理由で仕事を辞めるわけにもいかず、子育てと仕事の両立どころか、共倒れが現状です。

・仕事をしないで子どもと向き合う時間が少しでも欲しいと思うが、経済面で共働きしなければならなくなため、子どもたちには寂しい思いをさせている。今、子どもたちは大きくなって、自分のできることが少しでも増えてきているが、もし、育児休暇（出産休暇）などあれば、親に預けないで自分で子守等したかった。私の子育ての思いと主人の子育てのやり方が大幅に違うため、子どもたちは父親になつかない。すぐ怒ったり、子どもたちに手をあげたり、毎日、子どもたちは脅えながらの生活。私は、子どもは伸び伸びと育てていきたいという思いがある。そんな思いから離婚を考えている。主人も同意しているが、来年の夏頃まではできない。両親がいないと子どもがかわいそうという意見もあるが、子どもたちのためにそうすることを決意している。片親で、3人の子育ては大変かと思うが、子どもたちが毎日笑って暮らせる様にしてあげたい。私を含め4人が、今の生活を変えたいと願っている。それは、一人では、無理なところも多いと思うが、私の親が離婚に賛成しているし、協力もしてくれているので、少し安心できる。長男、長女は言葉使いが主人に似て乱暴で、不安がある。（まだまだあるが、書ききれない。）

・働き初めてから、小学生は学童保育、園児は預かり保育でお世話になり、2歳児は実母に預かってもらっています。以前（働いていなかった時）は、時間的に余裕があり宿題を見たり、子どもと接する時間も充分ありました。今は、4人の子どもと夕方から寝るまでの間、食事の準備やお風呂などでバタバタと慌ただしいので、休みの日しか、しっかりと向き合えません。経済的に余裕があったら、働く必要はないので、年2回の補助や児童手当が毎月支給されるようになるとすごく助かります。仕事や家事より子どもたちの寂しい思いをさせているという事がとても気になります。

・子育ても仕事も頑張らないと不具合が生じるようで、自分自身の健康が家族みんなに影響すると思うと、無理も出来ず、女性の子育てと仕事の両立のためには様々な問題があります。共働きで育児すると近所の方と親しくできる時間もあまり作れず、子どもになにかあったら本当に大変です。私は、結婚と転勤で仕事を一度辞めましたが、育児によってブランクができる、再就職するには勇気と努力が必要です。もし、また仕事を始めた時には、育児しやすい環境であることが第一条件となるでしょう。

・子どもは欲しいが、育てられないのが現実。金銭面での問題より、育児中の孤立感や配偶者の関わりの少なさに落胆。特に幼稚園に入るまでの4年間は本当に大変だった。(待機人数が多いことから、同居のため保育園には入れなかった。)幼稚園は保育料の高さに驚いたが、子どもの世界が広がり、親も自分の時間が持てる様になったせいか随分生活が落ち着いた。同時に次の子どもを持ちたいと内心思つたりもした。(幼稚園のシステムはとても良かったけど、保育園との保育料の格差に愕然としました。市からの補助金が少ないとのこと。鳥取の場合は、保育園に入れなかつたから仕方なく幼稚園にする場合も多いのに….)もしも政策として叶うのならば、男性の育児休暇制度の拡充や、時間休取得がやりやすくなると良い。子育て期間の一番大変な時期だけでも男性に対して優遇措置があると、家庭で過ごす時間が増えて、子どもとの関わりも増えて理想的。共働きを始めた現在は、自分自身が子どもと関わる時間が少なすぎて悪戦苦闘。一日の出来事を聞いてあげられない毎日、「このまま仕事を続けてよいのか?」思い悩む日もある。そして子どもを持ちたいという気持ちが薄れてきた。ただ、職場の理解がとてもあり、フレックスタイムでの就業に変更。病気時・行事・などの時も、その都度柔軟に勤務を変更させてください、本当に感謝の気持ちでいっぱい。なので、勤務時間内は仕事に集中して力一杯仕事をしています。この会社でよかったと思うと同時に、正直「できる限りこのまま続けていきたい」仕事にもなっています。確かに給与額も減りますが、私は子どもとの時間を持つてはいますが今は大事。男性の場合は、所得が減るのは困るから簡単には休みを取るわけにいかないのでしょう。立場や仕事のポジショナルにも有給取得もままならないのかもしれません。でも、共働きなら条件は同じ。程度の違いはあれど、社会的責任が発生することには違いないと思うのですが…子どもを産み育てるのが、女性一人にまかせっきりはちょっとおかしい。あんなに大変な思いを1人するくらいなら、子どもはいらない。誰もいない家に一人で過ごす子どもを思うとせつないし、基本的な社会のルールを教え伝える時期の子どもが、ほったらかしになってしまふほど仕事をするのが正しいことは思わない。子育てには、時間の余裕と社会の理解がすごく必要。今の社会の中で3人兄弟の夢を叶えるのは難しいかな…

・参観日や行事に休暇をとりやすい制度があつたらいいと思う。特に、幼、小学校の間は、フレックスタイムや看護休暇が柔軟にとれると両立て、将来的に社会貢献になると考える。子どもをしっかりと育てるということも大切な社会の一員としての仕事であると思います。今どうしても仕事優先の社会のため子どもの教育、子育てに十分に関わっていないのが現状です。後になって気づく子どもの大切さ、今地域や社会がその大切さに気づいて、子育てに関わる時間を大切に確保していくことを優先になるようにして欲しいです。

・子どもが保育園、未満児の時の仕事の両立は厳しいものがあります。経済的なことで仕事をしなければならないという方も多いと思います。週休2日の定着率は高くなっているでしょうが、それを主にした制度ばかりでなく、それ以外も利用できるものがあつてもいいと思います。たとえば、学校を主とした学童だけでなく、地域を主とした土曜日、夏休みを利用できる場所。ファミリーサポートを利用しても金額が高くてパート勤務等の場合、日当と同じぐらいになって何をしているのかわからないという声も多く聞きます。